

国語

三 上 わかば



わかばを見ると
むねが晴れ晴れする。
ぼくら子どもも ほんとは
人間のわかば。
天が、ほら。
あんなに晴れ晴れしている。
ぼくらを見まもつて……。

この本で学習するみなさんへ
この本では、次のしるしが使われています。

話したり聞いたりしましょう。
書きましょう。
読みましょう。
書きましょう。
読みましょう。
読みましょう。
書きましょう。
読みましょう。
書きましょう。
読みましょう。
書きましょう。
読みましょう。
書きましょう。
読みましょう。
書きましょう。
読みましょう。
書きましょう。
読みましょう。

● 文字や言葉のしるし
○ 新しく学習する漢字。
● 読み方が新しい漢字。
音はかたかなで、訓は平安でしめしてあります。
とくべつな読み方をかたかな。
する言葉。
読み方に気をつける
かたかな。

学習を進めるときに気をつけることなどをまとめています。
お声を聞いて、学習しましょう。
学習に関係のあるページをしめしています。

このしるしがあるところには、学習の助けとなることがあります。読み取りよろしくあります。読み取るときには、かららず、先生やおうちの方といっしょに行いましょう。

QRコード

きせつの言葉	春 36	夏 98	漢字の広場	① 35	② 46	③ 64	128	122	118	116	112	105	100	97	92	90	88	85	65	44	40	38	32	30	15	14	12	10	9	4				
よく聞いて、じこしょうかい	じょうほう	つづけてみよう	よく聞いて、じこしょうかい	よく書いて、じこしょうかい																														

「たいせつ」のまとめ
知りたいことの見つけ方、調べ方
手紙の書き方
げんこう用紙の使い方
本の世界を広げよう
とかげとぞう
これまでに習った漢字
この本で習う漢字
言葉のから箱

157 152 148 144 141 140 138 136 134 130



三年生の

学習の進め方

国語の学びを 見わたそう

はじめに

「やってみたい。」

「どうしたらいいかな。」

「どうして——だろう。」



読む

書く

話す・聞く



ふりかえる

「——が分かった。」「わ
分からない。」

「知っている言葉がふえた。」

「もっとよく考えてみたい。」



学習や生活にいかす

「——のときに、
いかすことができそう。」

「この言葉を使ってみよう。」



これから国語の学習が始まります。
みんなで考え、学びを深めていくために、学習の
進め方と、これから学ぶことをたしかめましょう。



三年生で学習すること

三年生で学ぶことをたしかめたり、学習したことをふり返したりして、言葉の力を高めていきましょう。

よく聞いて、じこしようかい…… 10

もつと知りたい、友だちのこと…… 40
話を聞いて、しつもんする

山小屋で三日間すごすなら…… 116



二年生の学びをたしかめよう

- ・つたえたいことを、「いつ」「どこ」「だれ」
「何」に気をつけて、くわしく思い出す。
- ・「はじめ」「なか」「終わり」など、話のじゅんじょを考える。



はんて意見をまとめよう
進行を考えながら話し合う

わたしたちの学校じまん
相手や目的を考え、理由をあげて話す

司会

- ・話すないようや相手に合わせて、声の
大きさや速さをくふうする。
- ・大事なことは何かを考えて話す。
- ・大事なことを落とさずに聞く。
- ・聞いたことを、短い言葉でメモする。
- ・友だちの話につなげて話す。
- ・自分の考えを話すときは、理由を言う。

話し合う 聞く 話す

つなげる 話す・聞く

じゅんびする

決める集める

二年生の学びをたしかめよう

氣もちをこめて「来てください」…… 60
あんなの手紙を書く

仕事のくふう、見つけたよ…… 92
組み立てを考え、ほうこくする文章を書く



句読点

食べ物のひみつを教えます
れいをあげて書く
たから島のぼうけん
物語の組み立てを考えて書く
これがわたしのお気に入り
感想をつたえ合う

げ 下
た あ な い の 手 紙 を 書 く



- ・まどまりに気をつける。
- ・書こうとすることが読む人につたわるよう
に、くわしく書く。
- ・書いたものを読み返し、まちがいや読みにくいところを直す。
- ・読み合って、思ったことなどをつたえる。
- ・自分の文章のよいところを見つける。
- ・集めたことを、じゅんじょよくならべる。
- ・見たり聞いたり思い出したりして、書くことを決める。
- ・書くものなどを、短い言葉や文でメモし、書きたいことをはつきりさせる。
- ・「はじめ」「なか」「終わり」のまどまりに組み立てる。

15

10

5

5

10

5





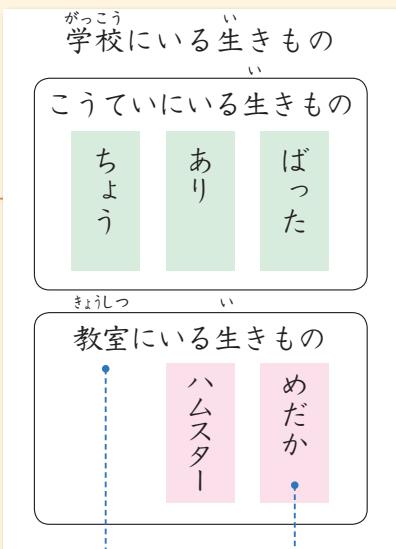
じょうほう

考
かんが
えるときにつかおう

分ける・くらべる

わ
分ける

たくさんものごとは、な
かまに分けると、せいりする
ことができるよ。



名前
なまえ

まとまりごとの
ふせんやカードに
書き出したものごと

「山小屋で三日間すこすなら」

117
ページ
5

くらべる

くらべると、ものごとの同じ
ところやちがうところを、せい
りすることができるので。

食べもの	あそび	
夏みかん なす なつ	すいか 虫とり むしとり	夏 なつ
みかん はくさい りんご	なわとび かるた あそび	冬 じゆ

5

くらべる
ものごと

どんな点を
くらべるか

「きつつきの商売」
119
ページ
5

「ポスターを読もう」
26
ページ
5





よく聞いて、じこしようかい

みなさん、どんなものが好きですか。わになつて、順番にじこしようかいをしましよう。

友だちが好きなものを、たくさん聞けるといいですね。



1 好きなものを一つ考えておこう。



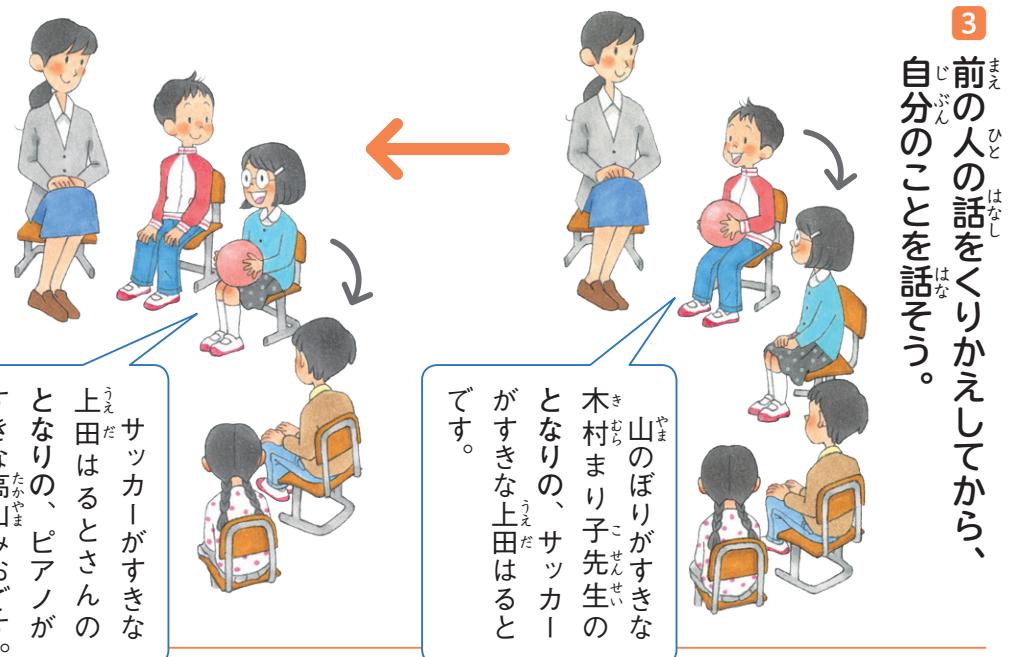
ぼくは、サッカーが好きなんだ。

2 わになつて、先生から順にじこしようかいをしよう。

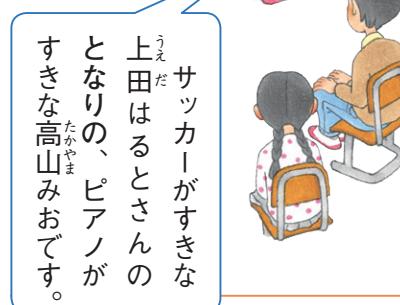


山のぼりがすきな木村まり子です。

話す人が分かるように、めじるしになるものをもつといいですね。



3 前の人の話をくりかえしてから、自分のことを話そう。



山のぼりがすきな木村まり子先生のとなりの、サッカーがすきな上田はるとです。

- もつと楽しもう
- 好きなものを二つにして話す。
- 本とりんごが好きな寺田ゆなさんのとなりの、歌と体育が好きな細川しゅんです。
- これからしたいことを話す。

友だちが好きなものを聞いて、どう思いましたか。



どきん

谷川 俊太郎
かわ しゅんたろう

鎌田 光代
かまた みつよ

絵え

さわってみようかなあ つるつる

おしてみようかなあ ゆらゆら

もすこしおそうかなあ ぐらぐら

もいちどおそうかあ がらがら

たおれちやつたよなあ えへへ

いんりょくかんじるねえ みしみし

ちきゅうはまわつてるう ぐいぐい

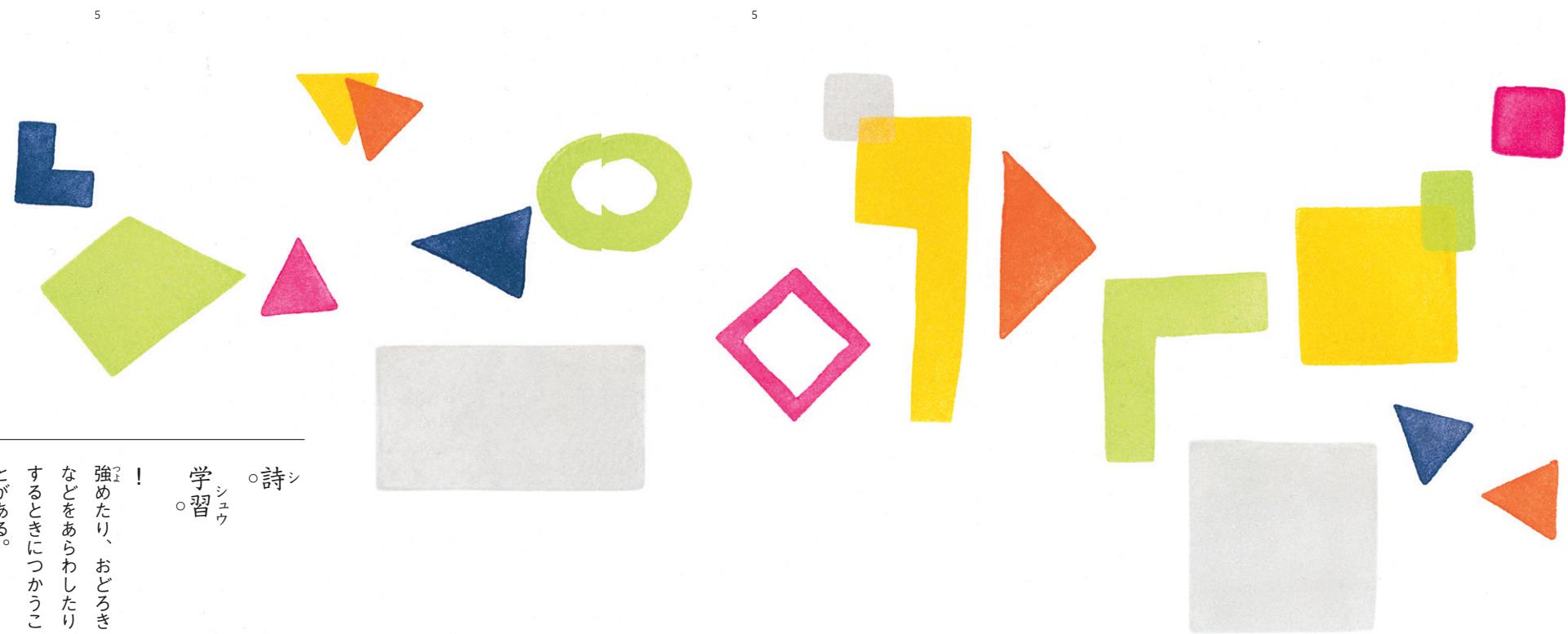
かぜもふいてるよお そよそよ

あるきはじめるかあ ひたひた

だれかがふりむいた！ どきん

学習

- ことばのちょうしを楽しみながら、音読しましよう。「つるつる」「やらやら」などのようすを、体のうごきであらわしてもいいですね。



○詩
○学習

強めたり、おどろきなどがあらわしたりするときにつかうことがある。

この本、読もう

つづけてみよう 日記を書こう

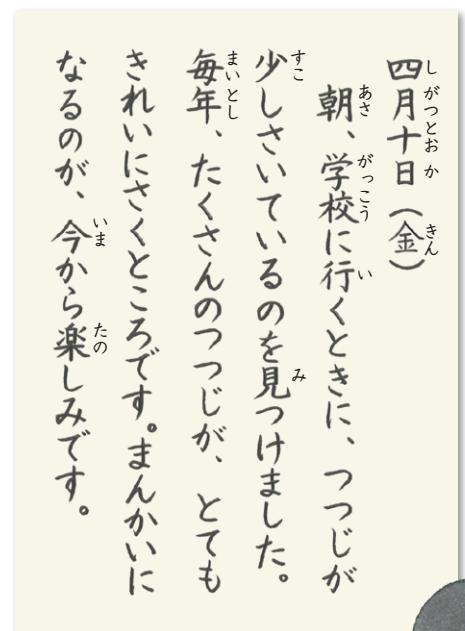
生活の中での気づきを、日記に書きましょう。長くつづけられるように、くふうしましよう。

こんなことを書こう

- 見つけたものや、こと
- 友だちやかぞくとの話の中で、出てきたことば
- 本を読んでいて出会ったことば
- 「春らしいな」「夏が近づいてきた」などのように、きせつをかんじたことなど
- 日記に書いたことを、朝の会などの時間に、みんなに知らせててもいいですね。

10

5



読んで、そうぞうしたことを
つたえ合おう

これまでの学習
二年生の学びをたしかめよう
(物語・詩)

7ページ

きつつきの商売

「きつつきの商売」は、森にすむ動物たちの物語です。きつつきは、森でどんな商売をしているのでしょうか。

1



きつつきの商店

村上 林原 玉枝
むらかみ はやしほら たまえ
やすなり さく

きつつきが、お店を開きました。

それはもう、きつつきにぴったりのお店です。

きつつきは、森中の木の中から、えりすぐりの木を見つけてきて、かんばんをこしらえました。

かんばんにきざんだお店の名前は、こうです。

おとや

それだけでは、なんだか分かりにくいので、きつ



つのは、その後に、こう書きました。

「できたての音、すてきない音、お聞きかせします。四分音符一ここに
つき、どれでも百リル。」

「へええ。どれでも百リル。どんな音があるのかしら。」

そう言つて、まっさきにやつて来たのは、茶色い耳をぴんと立てた野のうさぎでした。野うさぎは、きつつきのさし出したメニューをじっくりながめて、メニューのいちばんはじっこをゆびさしながら、「これにするわ」と言いました。

ぶなの音です。

「四分音符分、ちょうどいい。」

「しうちしました。では、どうぞこちらへ。」



10

5

四分音符

5

・物語り
・開く
○動物
○商売

きつつきは、野うさぎをつれて、ぶなの森にやつて来ました。

それから、野うさぎを、大きなぶなの木の下に立たせると、自分は、

木のてっぺん近くのみきに止まりました。

「さあ、いきますよ、いいですか。」

きつつきは、木の上から声をかけました。野うさぎは、きつつきを見上げて、こつくりうなずきました。

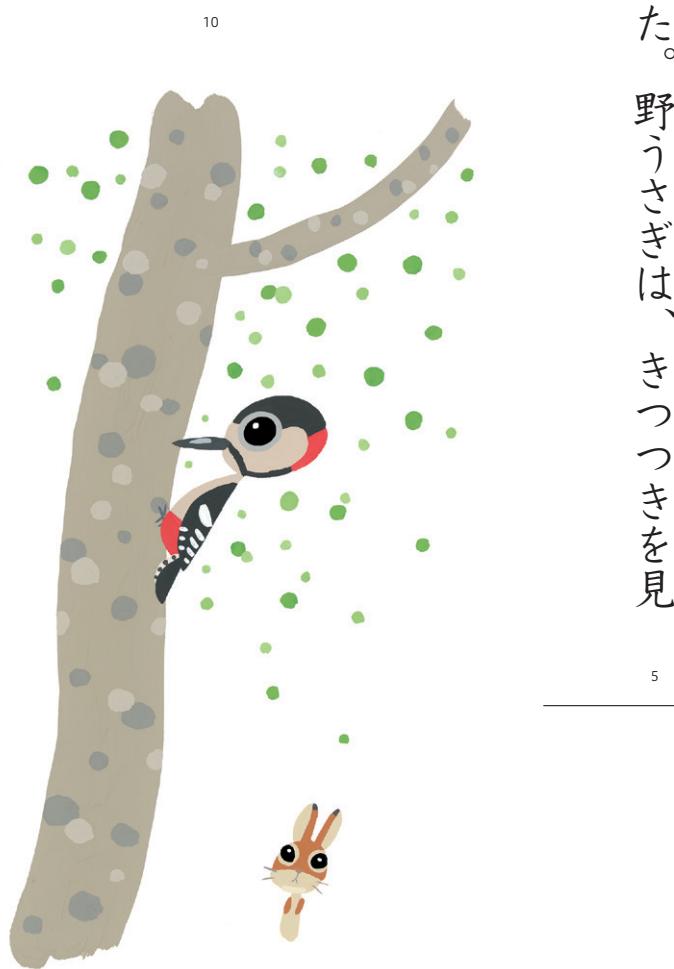
「では。」

きつつきは、ぶなの木のみきを、くちばしで力いっぱいたきました。

コーン。

ぶなの木の音が、ぶなの森にこだました。

ましました。



2

野うさぎは、きつつきを見上げたまま、だまつて聞いていました。きつつきも、うつとり聞いていました。

四分音符分よりも、うんど長い時間がすぎてゆきました。

ぶなの森に、雨がふりはじめます。

きつつきは、新しいメニューを思いつきました。

ぶなの木のうろから顔を出して、空を見上げていると、

「おはよう。きつつきさん。」

「何してるんですか。きつつきさん。」

木の下で、声がしました。

見下ろすと、ぶなの木のねもとに、野ねずみの家族が、みんなできつつきを見上げています。



たちつぼすみれの葉っぱのかさをかたにかつ
いで、上を見上げてしているので、みんな、顔中
びしょぬれでした。

「おとやの新しいメニューができたんですよ。」
きつつきは、ぬれた頭あたまをぶるんとふって、言いました。

「へえ。」

「今朝けさ、できたばかりの、できたてです。」

「へえ。」

「でもね、もしかしたら、あしたはできないかも
しれないから、メニューに書こうか書くま
いか、考かんがえてたんですよ。」

「へえ。じゃあ、とくべつメニューってわけ。」

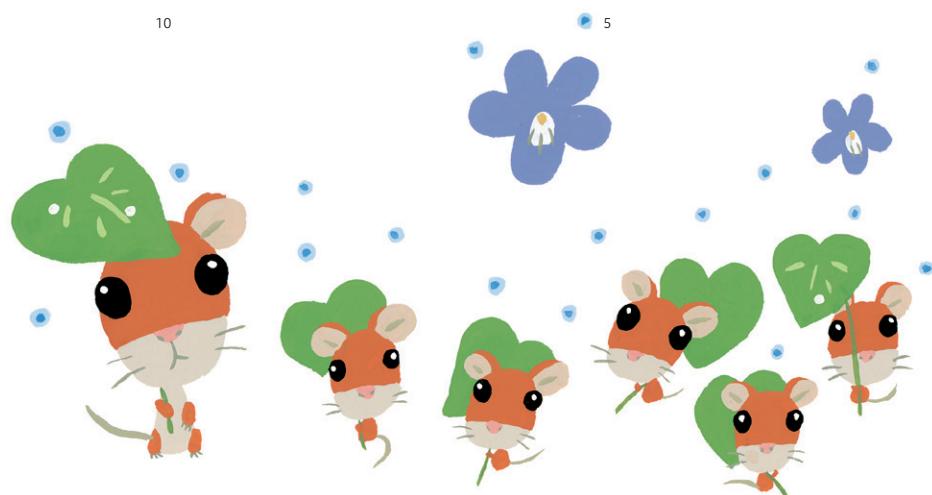
「そうです。とくとく、とくべつメニュー。」

「そいつはいいなあ。ぼくたちは、うんがい
ぞ。それで、その、とくとく、とくべつメニュー
も、百リル。」

「いいえ。今日は、ただです。」

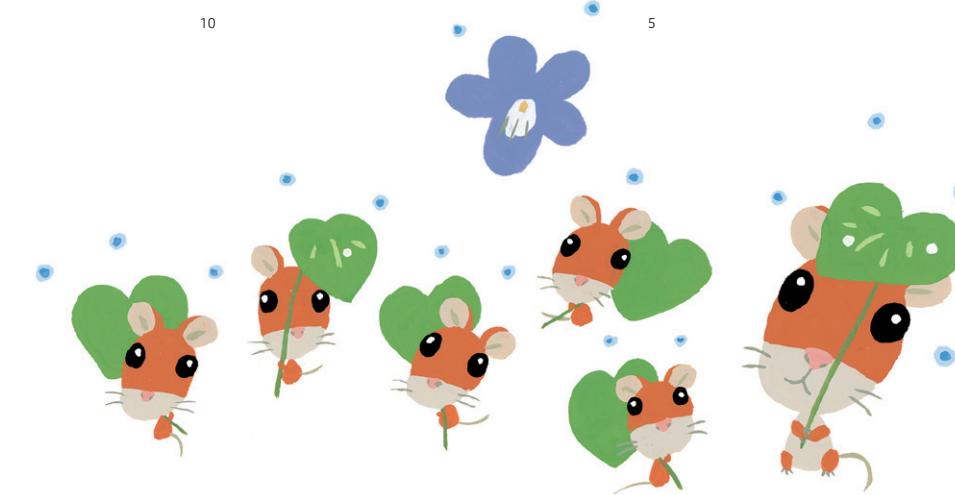
「よかったです。ますますうんがいぞ。ここに、
おとやが開店して、すてきない音おとを聞かせ
てもらえるってことは、もうずいぶん前から
聞いてたんだけどね。今日やつと、はじめて
みんなで来てみたんですよ。」

「朝あさからの雨あめで、おせんたくができないもので



◆
今日きょう

•開店カイテン



◆
今朝けさ

◦葉は
つば



たちつぼすみれ

たちつぼすみれ

すから。

母さんねずみが言うと、
「おにわのおそうじも。
草の実あつめも。」



「草がぬれてて、おすもうもできないよ。」

「かたつむりたちは、できるけど。」

「かたつむりじやなくて、あまがえるだつてば。」

「どつちもだよ。」

子どもたちも、日々に言いました。

「だから、ひとつ、聞かせてください。」

野ねずみの家族は、そろって、うれしそうに言いました。

「しううちしました。」

◆ 母さん
かあさん

タ
同じ字をかさねると
きにつかうしるし。
「おどり字」などと
いう。

◆ 母さん
かあさん

○ 実み

きつつきは、木のうろから出て、野ねずみたちのいる場所にとび下りました。

「さあさあ、しづかにしなさい。おとやさんの、とくとく、とくべつメニューなんだから。」

野ねずみは、野ねずみのおくさんと二人で、ペちゃくちゃ言つてる
子どもたちを、どうにかだまらせてから、きつつきをふりかえつて言いました。

「さあ、おねがいいたします。」

「かしこまりました。」

葉っぱのかさをさした十ひきの子ねずみたちは、きらきらしたきれ
いな目を、そろつてきつつきにむけました。

「さあ、いいですか。今日だけのとくべつな音です。お口をとじて、

め
めをとじて、聞いてください。」

みんなは、しいんとだまつて、目をとじました。

め
めをとじると、そこら中のいろんな音が、

いちどに聞こえてきました。

ぶなの葉っぱの、

シヤバシヤバシヤバ。

地面からの、

パシパシピチピチ。

葉っぱのかさの、

パリパリパリ。

そして、ぶなの森の、



ずうつとおくふかくから、

ドウドウドウ。

ザワザワザワワ。

「ああ、聞こえる、雨の音だ。」

「ほんとだ。聞こえる。」

「雨の音だ。」

「へえ。」

「うふふ。」

野ねずみたちは、みんな、にこにこうなずいて、それから、

め
めを開けたりとじたりしながら、ずうつとずうつと、とくべつ

メニューの雨の音につつまれていたのでした。



10

•開ける

林原玉枝
はしばらたまえ
一九四八年、広島県生まれ。作家。「森もりの店やさん」「ふしきやさん」などの作品がある。

•地ジ
○面メシ



見通しをもとう

読んで、そつぞうしたことをつたえ合おう

- ・場面のようすを思いながら、音読しましよう。
- ・登場人物のことや言つたことなどから、気もちを考えましよう。

○登場人物
物語の中の、ひとまとまり。

159ページ

とらえよう

- 「きつつきの商売」という物語は、「1」と「2」の二つの場面に分かれています。
- それぞれの場面の登場人物や、書かれているようすをせりましょう。
- それぞれの場面について、書かれているようすを思いうかべながら音読しましよう。
- 「きつつき」が聞かせた音について、書かれていることをもとにそつぞうしましよう。
- 何の音か。
- どんな音か。

1 2 5

1 2 5

1 せりするときのれい

登場人物	場所・天気など	のようす
登場人物がしたこと	場所・天気など	のようす
1	2	1

2 音読のしかた

音読するときは、つぎのことに気をつけましょう。

- ・登場人物のようすや、気もちをそつぞうする。
- ・声の強弱やはやさ、高さや、間のとり方を考える。

3 ノートのれい

- あなたが、「きつつきの商売」の「3」の場面を作るなら、どのような物語にしますか。登場人物や場所・天気などのようす、「きつつき」が聞かせる音や出来事などを、かんたんにノートに書きましょう。

- 「3」の場面のないようを、友だちとしようかいし合いましょう。そして、「いいな」「おもしろいな」と思つたことを、つたえ合いましょう。

- 知る どんなことに気をつけて音読しましたか。
- 読む 何に気をつけて、場面のようすや登場人物の気もちを考えましたか。
- つなぐ 場面のようすをそつぞうしながら、もういちど読みたい物語はありますか。

出来事など	音	登場人物
出来事など	・音を聞いていたたぬきたちが、楽しくなつておどりだす。	・店の人——きつつき ・森のおく——たぬき(二ひき) ・あかり——月夜 ・木をたたく、元気な、「コツコツ」という音。



ふりかえろう

- 知る どんなことに気をつけて音読しましたか。
- 読む 何に気をつけて、場面のようすや登場人物の気もちを考えましたか。
- つなぐ 場面のようすをそつぞうしながら、もういちど読みたい物語はありますか。

出来事
・間ま
・強
・弱

- 「3」の場面のないようを、友だちとしようかいし合いましょう。そして、「いいな」「おもしろいな」と思つたことを、つたえ合いましょう。

出来事など	音	登場人物
出来事など	・音を聞いていたたぬきたちが、楽しくなつておどりだす。	・店の人——きつつき ・森のおく——たぬき(二ひき) ・あかり——月夜 ・木をたたく、元気な、「コツコツ」という音。



場面のようすや、登場人物の気もちをそつぞつする

つぎのような言葉に気をつけて、ようすや気もちをそつぞつする。

- したことをあらわす言葉
- 言ったことをあらわす言葉
- 気もちをあらわす言葉
- 気もちをあらわす言葉
- いかそう

物語を読んで登場人物の気もちをそぞうするときには、気もちをそのままあらわしている言葉のほかにも手がかりがないかを考えましょう。



15

10

5

ひづけ	よ読んだ本	か書いた人
4月21日	ともだちや	うちだりんたろう 内田麟太郎

〈ひとこと〉

おおかみくんが、実はやさしいところがいいなと思った。

(おすすめ度 ★★★)

「おすすめ度」のらんは、友だちにすすめたい気もちを、★の数であらわしましょう。
(★★★ / ★★ / ★)

本を読んだら、きろくをつけましょう。後から思い出すときや、もつと読みたい本をさがすときに、やくに立ちます。

• 実は

えがかれている場所から広げる森で、何かがおこるお話をさがしてみよう。

森ではなく野原でも、楽しいお話がなにかな。

登場人物からつなげる登場人物が動物のお話を読んでみましょう。

この本、読もう

読んだことのある物語から、ほかに読みてみましょう。



「とかげとぞう」
144ページ

• 言葉

商 ショウ

登 トウ

事 こと

動 ドウ

物 モツ

もの

開 カイ

あける ひらく

族 ゾク

葉 ヨウ

実 ミヅ

所 ショウ

面 メン

152ページ

図書館たんていだん

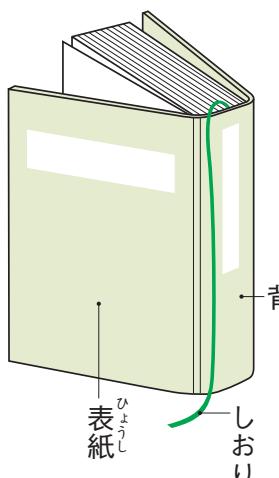
図書館の本は、ないようごとに、番号で分けてならべられています。

あなたの学校の図書館では、どこに、どんなようの本があるでしょうか。

○図書館



本のつくりを知ろう



- ・サツカーネルルが分かる本。
- ・草花のそだて方をしらべられる本。
- ・詩の本。

▼つぎの本が、どのたなにあるかをよそうして、たしかめましょう。

▼グループで学校図書館の地図を作り、どの

たなに、どんなしゆるいの本があるかをしらべましょう。

■ 本の分類のしかたのれい

番号	ないよう
0	しらべるための本
1	ものの考え方や心についての本
2	むかしのことや ちいきの本
3	社会のしくみの本
4	しぜんにかかわる本
5	ぎじゅつやきかいの本
6	いろいろなしごとの本
7	げいじゅつやスポーツの本
8	ことばの本
9	ぶんがくの本

5

10

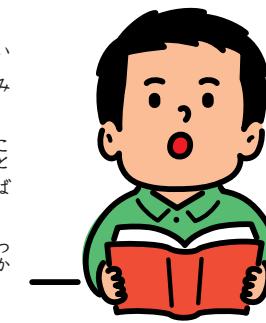


國語辞典を使おう

「深い青」の「深い」って、どういう意味かな。



「深い青」の「深い」って、どういう意味かな。



国語辞典は、言葉の意味、言葉の使い方、漢字での書きあらわし方などを知りたいときに使います。

では、「深い」という言葉を辞典で調べてみましょう。

5

国語辞典のれい

はしら
そのページにある、見出し語がのっています。
さいしょとさいごの見出し語がのっています。
しかも書かれています。
長い言葉は、とちゆうまで出します。

966
ぶか ふかぶん
ふかい ふかい
ふかく ふかく

部下ひだ【名】ある人の下したで、命令や指示じしを受けて働く人ひと。対上司じじ。

不快ふかい ふかい
不快ふかい【名】形動けいどういやな感じかんじがする。て、おもしろくないこと。例は不快な顔がほを

深ふかい ふかい
深ふかい【名】形動けいどう表裏ひょうりまたは入り口いりぐちから底そこや奥おくまでまでの距離きりが長い。例傷きずが

浅うぶい うぶい
浅うぶい【名】形動けいどう①色いろがこい。例深い青あお色いろ。対たい浅うぶい

ふかかく ふかかく
不覺ふかかく【付加価値ふくかかく】付加価値ふくかかく【名】形動けいどうで、新たに加わった価値かひぢ。

ふかかち ふかかち
不覺ふかかく【付加価値ふくかかく】付加価値ふくかかく【名】形動けいどうがわかること。例不覚ふかかくのなみだを二度つどをして、思わず失敗しっぱいをする。断たんをして、おもいに気がつかなかつた。

はひ ふ
「あ」のところには、「あ行あぎょう」(あ・い・う・え・お)を一字目とする言葉がのっています。

見出し語の見つけ方

見出し語は、五十音順にならんています。

140ページ

は ゃ ん

一 字 目 を く ら べ る 。
二 字 目 を 同じ とき は、
二 字 目 を く ら べ る 。

「ひらがなとかたかな」

うに「あ・い・う・え・お」におきかえられて、ならんでいます。
ゴードンゴールド かあ・ど ゲームゲームム げえ・む
カ・の・う

• 「は・ひ」のよ^うな清音の後に「ば・び」のよ^うな濁音、濁音の後に「ぱ・ぴ」のよ^うな半濁音の順でならんでいます。
ホール
ボール
ピザ
ビザ
ホー^ル
ボー^ル
ピ^ザ
ビ^ザ

• 「シール」「ブール」のよ^うなのはす音おんがある語は、「しいる」「ぶうる」のよ

10

5

かこう かけば かくもの かく	かく かきます かかない かかろう かかくろう かかくなる かかくなろう かかかつた かかかつた かかに かかに
--------------------------	--

文の中で、いろいろに形かたちをかえる言葉ことばがあります。国語辞典こくごじてんでは、ふつう、ひだりのひだりでかこんだ形かたちが、見出し語ごじゆです。

カードカード かあ・ど ゲームゲーム げえ・む

ゴー^ル
ド

しづか
しづか
な夜よ
しづか
な夜よ
しづか
な夜よ
しづか
な夜よ
しづか
な夜よ
しづか
な夜よ

15

10

5

漢字かんじ。意い。深ふかい。使つかう
味み。深ふかい。使つかう
調しらべる

調しらべる

• 「シール」「ブール」のよ^うなのはす音おんがある語は、「しいる」「ぶうる」のよ

10

5



1

絵の中の言葉を使って、動物園のようすを文に書きましょう。
「れい」くじやくが、きれいな羽を大きく広げています。

問
題
章
意
味
漢
語
調
由
温
酒

152
ページ

1 国語辞典を使って、つぎの言葉はどうちらが先に出ているか、調べましょう。

・「じゅう（自由）」と「じゅう（十）」

・「くらす」と「クラス」

・「バレー」と「バレエ」

2 線の言葉を国語辞典で調べ、いくつかある意味のうち、どれが当てはまるか考えましょう。

・温かいあま酒を出す。

・算数の問題をとく。

・コップの内がわのよごれをとる。

・人形を友だちにあげる。

いかそう

きのう、おばあちゃんに合いにいきました。えきからはさか道ですが、□なので平気でした。
(なだらか・なめらか・のびやか)

書いた文章の言葉や漢字を見直すときに、国語辞典を使いましょう。

○平イ○文○人○内○自
○氣○章○形○が○が○由
○○○○○○○○○○○○

3 つぎの文章のまちがいを見つけましょう。また、□には、()の中のどの言葉が入るでしょう。国語辞典を使って、考えましょう。

きのう、おばあちゃんに合いにいきました。えきからはさか道ですが、□なので平気でした。
(なだらか・なめらか・のびやか)

書いた文章の言葉や漢字を見直すときに、国語辞典を使いましょう。

春のくらし

せいかつ 生活の中なかで、はる 春らしさをかんじることはありますか。ましよう。

まわ みの回りで見つけた、春をかんじたものについて書きましょう。

みどり

内田
麟太郎
うちだ
りんたろう

みどり まみどり

こいみどり
はるの のやまは
よりどりみどり

みどりの ことり

みどりに かくれ

5

さがせど さがせど
こえばかり

◆山菜や、野原で見かける草などにも、春らしい食べ物として知られているものがあります。

たねまき

なえ

めばえ



わらび

せんまい

ふき

たらのめ

よもぎ

たけのこ



新玉ねぎ

新じゃが

春キャベツ



◆春には、「新」や「春」がつくやさいが食べられます。みずみずしく、やわらかいとされています。

土曜日に、家でさくらゆをのみました。
おゆの中にさくらの花がさいたみたいでした。
ほんのりいいにおいがして、春だなあと思いました。

5

漢字の音と訓

次の文を読んでみましょう。

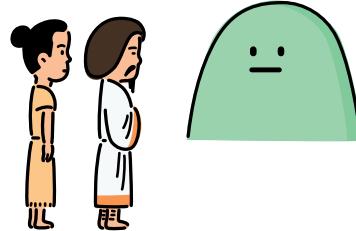
今日は、朝早くおきて、ゆっくり朝食をとった。



漢字の読み方には、「音」と「訓」があります。「朝」をれいに見てみましょう。

書き表せるようにしました。

たとえば、中国では、「山」という漢字を「サン」というような発音で読んでいました。そこで、日本でもこの漢字を「サン」と読みました。これが、「音」です。いっぽう、日本では、「まわりの土地より高くなっている所」のことを、「やま」といってきました。そこで、この漢字を「やま」とも読むことにしました。これが、「音」と「訓」の読み方があるのであります。



10

5

5

朝

(訓)あさ 朝食 朝顔

「チヨウ」のような「音」は、聞いただけでは意味の分かりにくいものが多く、「あさ」のような「訓」には、聞いてすぐ意味の分かるものがたくさんあります。どうして、漢字には、「音」と「訓」の二通りの読み方があるのでしょうか。漢字は、はるか昔に中国で生まれました。いっぽう、日本には、もともと文字がありませんでした。そこで、昔の日本人は、中国の漢字を使って、日本語を

1 線の言葉では、音と訓のどちらが使われているでしょうか。

これまでに習った漢字

148ページ

- 2
- 農家のおじさんに話を聞く。
 - 毎日、野球のれんしゅうをする。
 - ゆうびん局までの近道を教える。
 - 次の漢字の音と訓をどちらも使って文を作りましょう。
 - （れい）小学校で、小さなねこを見た。
 - の読み方があるのであります。

10

5

10

5

- 小学校
 - 野球
 - 楽
 - 切
 - 回
 - 下
- 書き表す
- 次の漢字の音と訓をどちらも使って文を作りましょう。
- 小学校で、小さなねこを見た。
- 野球
- 楽
- 切
- 回
- 下
- 次の漢字の音と訓をどちらも使って文を作りましょう。
- 小学校で、小さなねこを見た。
- 野球
- 楽
- 切
- 回
- 下

10

5

5

球
たま

次
つき

局
きょく

表
ひょう

あらわれる

発
はつ

県
けん

有
ある

氷
ひょう

秒
ヒヨウ

農
ノウ

153ページ

書
あらわす

次
つき

朝
あさ

朝食
あさごはん

朝顔
あさがほ

早朝
そうちよう

次ぎ

朝
チヨウ

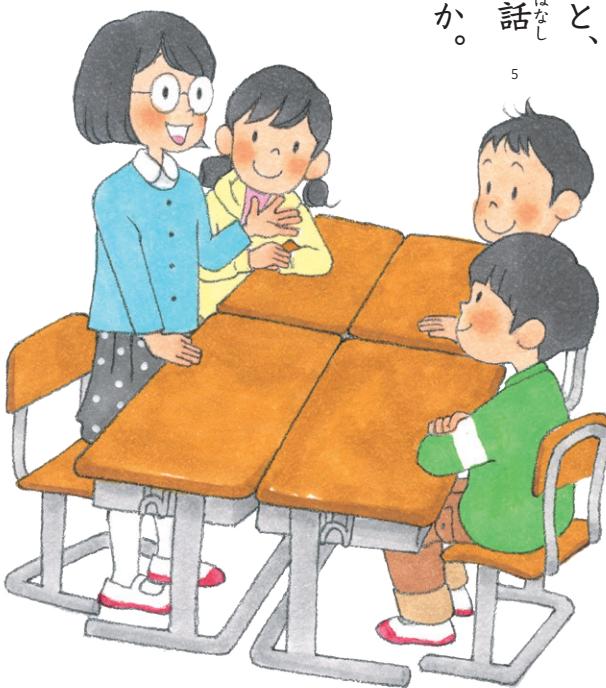
朝食
シヨウ

知りたいことを考えて、しつもんしよう

もつと知りたい、友だちのこと

友だちの話を聞くと、もつとくわしく知りたくなるときがあります。ここでは、友だちの話を聞きながら、もつと知りたいことを考えて、しつもんしましょう。

どんなしつもんをすると、友だちからたくさんのお話が引き出せるでしょう。



- 1 友だちに知らせたいことを決めよう。**
- 友だちと話を聞き合ために、まず、話し手として、あなたがみんなに知らせたいことを決めましょう。学校や家の出来事、好きなことやもの、今がんばっていることなどからえらび、かんたんなメモを書いておきましょう。
- 2 しつもんや、話の聞き方にについて整理しよう。**
- しつもんには、次のようなものがあります。
- 「いつ・どこで・だれが・何を」をたずねるしつもん
 - 「どのように」をたずねるしつもん
 - 「なぜ（どうして）」をたずねるしつもん
 - どんなときに使うか

しつもんのしゅるい		「いつ・どこで・だれが・何を」をたずねるしつもん
「どのように」をたずねるしつもん	「どのように」をたずねるしつもん	どんなときに使うか



●たしかめよう

「一年生の学びをたしかめよう」

5ページ

●学習のすすめ方

- 1 友だちに知らせたいことを決める。

- 2 しつもんや、話の聞き方にについて整理する。

- 3 話を聞いて、しつもんする。

- 4 友だちの話で心にのこったことを、つたえ合う。

●ふりかえろう

つなげよう

はなそう
聞こう

じゅんびしよう

決めよう
あつめよう

15	10	5
しつもんには、次のようなものがあります。	「いつ・どこで・だれが・何を」をたずねるしつもん	どんなときに使うか

- 「いつ・どこで・だれが・何を」をたずねるしつもん
- 「どのように」をたずねるしつもん
- 「なぜ（どうして）」をたずねるしつもん
- どんなときに使うか

- 「どのように」を使うのかを、下の表でたしかめましょう。
- 「話を聞くときは、話の中心（いちばん話したいこと）に気をつけて聞き、話す人の方を見るようにしましょう。

- 「話を聞くときは、話の中心（いちばん話したいこと）に気をつけて聞き、話す人の方を見るようにしましょう。

3 話を聞いて、しつもんしよう。



三、四人のグループになり、一人ずつ話しましよう。聞く人は、つぎのようにしてしつもんします。

- ① もつと知りたいことを考えながら聞く。
- ② 話を聞きおわったら、しつもんしたいことをカードに書く。
- ③ とくにしつもんしたいことをえらんでたずねる。

わたし
が大切にして
いるのは、家でかつて
いるクマノミです。



クマノミは、オレンジ色に、白いおびのようなもうがある、きれいな魚です。見ていると、いつも明るい気持ちになります。とくに、えさを食べているところがかわいくて、大きです。

これからも大切にしたいです。

15

■しつもんカードのれい

- ・いつからかって
いるのか。
- ・なぜ、かいはじ
めたのか。
- ・どのようにえさ
を食べるのか。

名前
なん
何びきかってい
るのか。

おお
どのくらいの大
きさなのか。

5

5

5



4 友だちの話で心にのこつたことを、つたえ合おう。

▼しつもんするときや、それに答えるときなど、相手に何かをつたえるときには、大事なことを落とさずに言うようにしましょう。

「きちんとつたえるために」

44ページ

話をして、しつもんする

- 話す人の方を見ながら聞く。
- 話のないようや、自分が知りたいことを見つける。
- 知りたいことについて、どのようにしつもんするとよいかを考える。

高山さんが、クマノミのことととてもすきだということが、よく分かりました。自分で名前をつけたことも、大きな理由の一つかなと思いました。

友だちの話や、しつもんとその答えを聞いて、どんなことが

心にのこつたかをつたえ合いましょう。

5



- いかそう**
- 何かを調べるために、人に話を聞くときには、しつもんしたいことをはつきりさせましょう。

ふりかえろう

知る 話す・聞く つなぐ

しつもんするときに、どんな言葉を使いましたか。

しつもんすると、どんなことがありますか。

○落とす ○相手

10

5

きちんとつたえるために

これまでに、言いたいことがうまくつたわらなかつたことはありませんか。
相手にきちんとつたえるために、落としてはいけないことは何かを考えましょう。



○洋服
○着る

決
きまる
整
ととのえる
相
あい
落
おどす
着
きせる
洋
ヨウ
服
フク

あなたは、どんな言葉遊びをしたり、どんな遊びまで遊んだりしたことがありますか。二つの文章には、はじめて知る言葉遊びやこまがあるでしょうか。



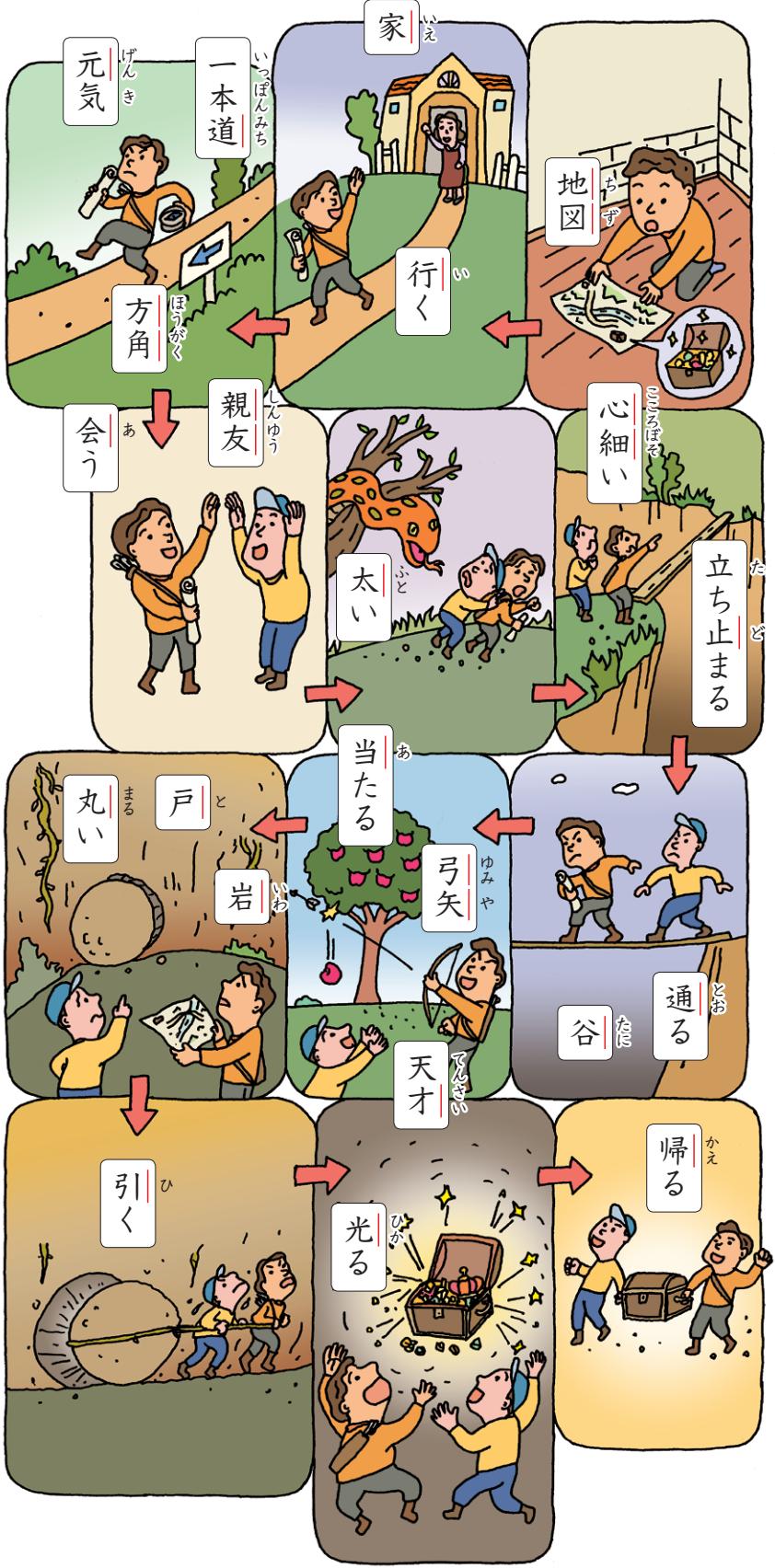
「こまを楽しく」 言葉遊びで遊ぼう

じょうほう 全体と中心



これまでの学習
にねんせいのまなびをたしかめよう
(せつめいする文章)

これまでの学習
にねんせいのまなびをたしかめよう
(せつめいする文章)



漢字の広場
ひろば
2年生で
ならじ
習った漢字

たから物をさがしに出かけた、男の子のお話を書きましょう。
「そこで」「けれども」などを使つてみましよう。
「れい」 まなぶくんは、たから物のある場所がかかれた地図を見つけました。
そこで、ぼうけんに行くことにしました。

言葉で遊ぼう

こと

ば

小野 恭靖

と
問い合わせ

160ページ

段落
文章を組み立ててい
るまとまり。

遊び

159ページ

① みなさんは、しりとりや早口言葉で遊んだことがありますか。これらは、古くから多くの人に親しまれている言葉遊びです。言葉遊びには、ほかにどのようないものがあるのでしょうか。また、どのような楽しさがあるのでしょうか。

② にた音や同じ音の言葉を使って文を作るのが、しゃれです。たとえば、「ふとんがふとんだ」「イクラはいくらだ」がそうです。しゃれは、「ふとん」と「ふとんだ」や、食べ物の「イクラ」と数やねだんをたずねる「いくら」のように、にた音や同じ音の言葉を使って作られます。言葉には、にた音や同じ音であっても、意味がちがうものがあります。しゃれには、言葉のもつ音と意味とを組み合わせるという楽しさがあります。

③ 上から読んでも下から読んでも同じになる言葉や文が、回文です。回文には、

「きつつき」や「しんぶんし」のような短い言葉もあれば、「わたしたわしわしたわ」のように長い文のものもあります。回文になっている言葉や文を見つけたり、自分で作ったりする楽しさがあります。回文は、長くなればなるほど、作るのがむずかしくなりますが、できたときのうれしさも大きくなります。

④ 言葉を作っている文字の順番をならべかえて、べつの言葉を作るのが、アナグラムです。たとえば、「とけい」をならべかえると、「けいと」というひとまたできますし、「くつみがき」をならべかえると、「実がつく木」というひとまたまりの言葉ができます。アナグラムには、元の言葉とは全くちがう意味の言葉を作る楽しさがあるのです。

⑤ このように、言葉遊びにはいろいろあります。それぞれに楽しさがあります。言葉遊びをするのには、とくべつなどうぐや、広い場所はいりません。ふだん使っている言葉だけで、楽しい時間をすごすことができるのです。人々は、昔から言葉遊びを通して、言葉のおもしろさにふれてきました。あなたも、言葉遊びを楽しんでみましょう。

おわり

小野 恭靖

一九五八年、静岡県生まれ。言葉遊びについてけんきゅうしている。

・全く
・元もと
・短い

●③④の段落にも、「問い合わせ」の「答え」に当たるぶぶんに線を引きましょう。
●知っている言葉遊びはありましたか。友だちと話しましょう。

○遊びの名前
○遊びの楽しさ
○遊びの楽しさ
○遊びのため
○遊びのため

遊び
全体

と
問い合わせ

160ページ

段落
文章を組み立ててい
るまとまり。

159ページ

こまを楽しむ

たの

安藤
正樹

こまを回して遊ぶことは、昔から世界中で行われてきました。長い間、広く親しまれるうちに、こまには、さまざまなくふうがつみかさねられてきました。そして、たくさんのかまが生み出されました。日本は、世界でいちばんこまのしゆるいが多い国だといわれています。では、どんなこまがあるのでしよう。ま

5

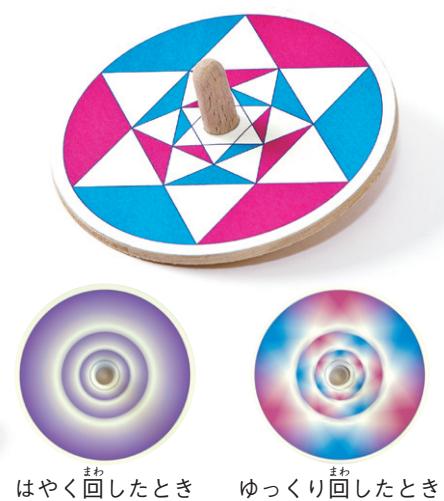


た、どんな楽しみ方ができるのでしょうか。色がわりこまは、回つているときの色を楽しむこまです。こまの表面には、もようがえがかれています。ひねつて回すと、もように使われている色がまざり合ない、元の色とちがう色にかわるのがとくちようです。同じこまでも、回すはやさによつて、見える色がかわってきます。

鳴りこまは、回つているときの音を楽しむこまです。こまのどうは大きく、中がくうどうになつていて、どうの横には、細長いあなが空いています。ひもを

•行
う
○世
界
中

5



はやく回したとき ゆっくり回したとき
いろがわりごま

10



鳴りごま

○横
よ
う
どう
物の
中の
なか
ぶぶん。

引つぱつて回すと、あながら風が入りこんで、ボーッという音が鳴ります。その音から、うなりごまともよばれます。

さか立ちごまは、とちゅうから回り方がかかり、その動きを楽しむこまです。このこまは、ボールのような丸いどうをしています。指で心ぼうをつまんで、いきおいよく回すと、はじめはふつうに回るので、回していくうちに、だんだんかたむいていきます。そして、さいごは、さかさまにおき上がつて回ります。

たたきごまは、たたいて回しつづけることを楽しむこまです。このこまのどうは、細長い形をしています。手やひもを使つて回した後、どうの下のぶぶんをむちでたたいて、かいてんをくわえます。止まらないように、上手にたたいて力をつたえることで、長く回して楽しみます。

たたきごまは、たたいて回しつづけることを楽しむこまです。このこまのどうは、細長い形をしています。手やひもを使つて回した後、どうの下のぶぶんをむちでたたいて、かいてんをくわえます。止まらないように、上手にたたいて力をつたえることで、長く回して楽しみます。

ほかのこまとくらべ、安定したつくりに

10



曲ごま



たたきごま

5



さか立ちごま

10



さか立ちごま

5

◆ 上手
○ 安定
○ 鉄
○ 曲芸
○ 心ぼう
○ 指び

回る物の、じくになつているぼう。

◆ 上手
○ 安定
○ 鉄
○ 曲芸
○ 心ぼう
○ 指び

人をおどろかせたり、よろこばせたりする、めずらしい芸。

なつて いるので、あまり ゆれること が あ
りません。台の上 で 手 を 使 つて 回 し、そ

こから 細い糸 の 上 や、ぼうの先 の ような
回 しに くい所 へ うつしかえて 回 しつづけ
まます。

ずぐりは、雪の上 で 回 しして 楽しむこま

です。ふつうのこまは、心ぼうが 細いの
で、雪の上 で 回 すことは できません。

いっぽう、ずぐりは、雪の上 で 回 しして 遊
ぶことができるよう に、心ぼうの先 が 太
く、丸く作 られています。まず、雪に 小
さなく ぼみを 作り、わらで できた なわを

使 つて、その 中 に なげ入れて 回 します。
雪が ふつても こまを 回 したいと いう 人々
の 思いから、ずぐりは 長く 親しまれ て き
ました。

この ように、日本には、さまざま
しゆるいのこまが あります。それぞれ

色も 形も ちが いますが、じくを 中心 に
バランスをとりながら 回る という つくり
は 同じです。人々は、この つくりにくふ
うをくわえ、回る様子 や 回し方 で さま
ざまな 楽しみ方 の できるこまを たくさん
生み出 してきた のです。

10

5



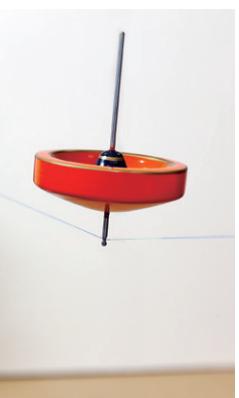
雪の上 で 回る ずぐり



ずぐり



細い糸の上 や、ぼうの先で 回る 曲ごま



ヨウス
・様子
安藤正樹
一九五八年、鳥取
県生まれ。こま回し
などの、日本の昔遊びの
けんきゅうをして
いる。



- 段落とその中心をとらえて読み、かんそつをつたえ合おう**
- 段落や、「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに気をつけましょう。
 - それぞれの段落に書かれていることを、中心となる言葉や文をたしかめながら読みましょう。

● 文章全体の組み立てについて考えましょう。

- この文章には、「問い合わせ」が二つ書かれています。「問い合わせ①」「問い合わせ②」に分けて、ノートに書きましょう。
- それぞれの段落を、「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに分けるとしたら、どのようになるでしょう？ 段落に番号をつけて、考えましょう。

1 文章の組み立て	
おわり	はじめ
中	問い合わせ
全体のまとめ	問い合わせ

※くわんに、段落の番号を書きましょう。

● 「中」では、「問い合わせ」にたいする「答え」として、どんなことが書かれているでしょうか。それぞれの段落を使つてまとめているでしょうか。

● 「おわり」には、どんなことが書かれていますか。「中」で書かれていた六つのこまを、どのような言葉を使つてまとめているでしょうか。

2 ノートのれい	
段落	問い合わせ①の答え
・色がわりごま	問い合わせ②の答え

3 かんそうをつたえ合うときのれい

ぼくは、色がわりごまで遊びた
いと思いました。
このこまは、回つているときの
色を楽しむことができるここまでです。
回すはやさで、どういうふうに
色がかわるのかを見てみたいと思
いました。

理由

● いちばん遊んでみたいこまについて、グループで話しましょう。友だちの話を聞いて、自分とていて、ころやちがうところはありましたか。気づいたことや考えたことを、ノートに書きましょう。

ひろげよう

まとめよう

とらえよう



ふりかえろう

□ 知る
□ 読む
□ つなぐ

段落や文章の組み立てについて、はじめて知ったことは何ですか。
それぞれの段落の中心をとらえるとき、どんな言葉に気をつけましたか。

はじめ」「中」「おわり」をとらえることは、どんなときにいかせですか。



森川さんは、わたしと同じ
色がわりごまをえらんだけれ
ど、その理由はちがうね。

理由

このこまは、回つているときの
色を楽しむことができるここまでです。
回すはやさで、どういうふうに
色がかわるのかを見てみたいと思
いました。





段落とその中心をとらえる

● 文章は、「はじめ」「中」「おわり」などの大きなまとまりに分けられる。

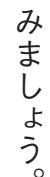
大きなまとまりは、一つ、またはいくつかの段落でできている。

一つの段落には、それぞれ、ひとまとまりのないようが書かれている。

- 「問い合わせ」と「答え」に気をつけると、文章全体の組み立てや、段落の中心をとらえることができる。



ちしきや科学の本を読むときには、それぞれの段落の中心をたしかめながら読みましょう。



ちしきや科学の本を読むときには、それぞれの段落の中心をたしかめながら読みましょう。



かんけいをとらえよう 全体と中心



じょうほう

では、どんなこまがあるのでしょう。また、どんな楽しみ方ができるのでしょうか。

答え

色がありこまは、回っているときの色を楽しむこまです。

問い合わせ

では、どんなこまがあるのでしよう。また、どんな楽しみ方ができるのでしょうか。



「こまを楽しむ」では、「はじめ」のぶぶんに、文章に何が書かれているのかが、「問い合わせ」の形でしめされています。この「問い合わせ」にたいする「答え」が、文章全体や段落の中心になります。

「こまを楽しむ」では、「はじめ」のぶぶんに、文章に何が書かれているのかが、「問い合わせ」の形でしめされています。この「問い合わせ」にたいする「答え」が、文章全体や段落の中心になります。

10

界

カイ

横

ヨウ

指

シ

鉄

テツ

安

アン

154
ページ

定

ヨウ

さだまる

遊

ヨウ

さだまる

全

ゼン

すべて

短

タン

みじかい

10

10

5

この本、読もう

昔からつたわる遊びについて書かれた本です。どんな遊びがあるのか、どんな楽しみ方があるのかに気をつけて、読んでみましょう。



1巻いろいろあそび
ことば遊び チャレンジ20
しゃれ、回文、しりとり、なぞなぞ、当て字など、文字や言葉の楽しい遊びをしようかいしています。



昔の子どものくらし事典
ゴムとびや竹馬、けん玉など、昔の子どもたちの遊びが分かります。



ことば遊び チャレンジ20
しゃれ、回文、しりとり、なぞなぞ、当て字など、文字や言葉の楽しい遊びをしようかいしています。



文章を読むときだけではなく、話したり聞いたり書いたりするときにも、全体にたいする中心がどこかを考えましょう。「問い合わせ」と「答え」を見つけることは、その手がかりになります。

▼次の話の中心はどこか、考えましょう。

五月になりましたが、新しい学年にはなれましたか。どんどん楽しい学校にしていきたいですね。それでは、学校のみんなで楽しく生活するには、どうしたらいいのでしょうか。でも、大切なのは、あいさつです。あいさつは、したほうも、されたほうも気もちよくなりますね。まずは、毎日のあいさつからはじめましょう。



59

58

大事なことを考えて、あんないの手紙を書こう

運動会や学習発表会などのあんないの手紙を、見に来てほしい人に、書いてとどけましょう。相手に分かりやすく、ひつようなことがつたわる手紙になるように、ないようや書き方を考えましょう。



1 相手を決め、つたえることを考えよう。

だれに、何の行事をお知らせしたいですか。
相手に来てもらうためには、次のことを、
分かりやすくつたえましょう。

- ・いつ、どこで、何をするのか
- ・行事のせつめいや、自分がすること
- ・ぜひ来てほしいという気持ち

2 つたえることを整理しよう。

つたえることを、メモに整理しておくと、手紙が書きやすくなります。

メモが書けたら、友だちとこうかんして、ないようが正しいかや、つけ足したほうがよいことはいかをたしかめ合いましょう。

日時	場所	行事..運動会	相手..高村みちる先生
5月三十日（土）午前九時	ひかり小学校運動場	ほいく園の高村先生	もりかわ 森川さんのメモ
●予定	●八十多メートル走	●ダンス	●つなぎ
●がんばるから、見に来てほしい。	●八十多メートル走	●ダンス	●つなぎ

おわる時間もお知らせして
おくと、先生が予定を立てやす
いんじゃないかな。



○運動会
●予定
●八十多メートル走

●ふりかえろう

つなげよう ◀ 書こう ◀ 組み立てよう ◀ 決めようあつめよう
5 手紙をとどける。

4 手紙を書いて、読み返す。

3 組み立てをたしかめる。
2 つたえることを整理する。

●たしかめよう
「一年生の学びをたしかめよう」

6ページ

3 組み立てをたしかめよう。

森川さんの手紙を読んで、組み立てをたしかめましょう。

緑がきれいなきせつになりました。高村先生、お元気ですか。ぼくは元気です。こんど、ぼくが通う小学校で運動会が開かれますので、ごあんないします。

日時 五月三十日（土）
場所 ひかり小学校 運動場
ぼくは、八十メートル走とダンス、つな引きに出ます。毎日、れんしゅうをしています。どれも力いっぱいがんばるので、ぜひ見に来てください。

はじめの
いさつ

4 手紙を書いて、読み返そう。

相手が気もちよく読めるように、次のことに気をつけて、手紙を書きましょう。

・ていねいな言葉を使う。（文のおわりを

「です」「ます」でそろえる。）

・正しく、読みやすい字で書く。

書きおわったら、声に出して読み返します。

しよう。読みづらいところはありませんか。ないようや字にまちがいはないかや、ていねいな言葉づかいになっているかをたしかめましょう。

10

たかむら みちる 先生
五月十二日
森川 そうた

ぼくは、八十メートル走とダンス、つな引きに出ます。毎日、れんしゅうをしています。どれも力いっぱいがんばるので、ぜひ見に来ます。

15

書いた日

5

自分の名前

10

相手の名前

5

つたえること

10

・すること

5

・行い

5

・気もち

5

はじめの
いさつ

5 手紙をとどけよう。

手紙は、ふうとうに入れてわたしよ。地図やプログラムなどを入れてもよいですね。

ゆうびんで送る場合は、住所とあて名を書きましょう。

136
ページ

5

たいせつ
あんないの手紙を書く

へないようについて

●相手が来るためにひつようなことを考える。

〈書き方について〉

●ていねいな言葉を使い、文字を正しく書く。

いいかそう

あんないをするときは、相手が知りたいことをつたえるようにしましょう。

ふりかえろう

□ 知る
□ 書く
□ つなぐ

言葉の使い方で気をつけたのは、どんなことですか。

相手に来てもらうためには、どのようなことを知らせるとよいと思いましたか。

今までに書いた手紙とあんなの手紙とでは、どんなちがいがありましたか。



運
はこぶ

予
ヨ

返
へん

かえる

緑
みどり

送
そう

おくる

住
すむ

すまう

154
ページ

3

学校からの帰り道に、「りいこ」は何かを見つけます。それはいつたい、何でしようか。そして、どんなことがおこるのでしょうか。



まいごのかぎ



**読み、登場人物のへんかに気をつけて
読み、感想を書こう**

これまでの学習
場面のようすや、
(きつつきの商売)
登場人物の気持ちをそぞうする
28ページ



時を表す言葉を使つて、日曜日の出来事と、家の人々の今週の予定を書きましょう。
「れい」 日曜日の朝は、おさるのがおそくな
りました。

3



まいごのかぎ

齊藤倫作
陣崎草子絵

海ぞいの町に、ぱりつとしたシャツのような夏の風がふきぬけます。だけど、学校帰りの道を行くりいこは、うつむきがちなのです。

「またよけいなことをしちゃったな。」

りいこは、しょんぼりと歩きながら、つぶやきました。

三時間目の図工の時間に、みんなで学校のまわりの絵をかきました。りいこは、おとうふみたいになりました。

こうしゃが、なんだかさびしかったので、その手前にかわいいうさぎをつけ足しました。そしたら、友だちが、くすぐすわらつたのです。りいこは、はずかしくなつて、あわてて白い絵の具をぬつて、うさぎをけしました。そのとき、りいこの頭の中にたしかにいたはずのうさぎまで、どこにもいなくなつた気がしたのです。うさぎに悪いことをしたなあ。思い出しているうちに、りいこは、どんどんうつむいていつて、さいごは赤いランドセルだけが、歩いているように見えました。

ふと目に入ったガードレールの下のあたりに、かたむきかけた光がさしこんでいます。もじやもじやしたヤブガラシの中で、何かが、ちらつと光りました。

「何だろう。」

りいこが拾い上げると、それは、夏の日ざしをすいこんだような、



○拾い上げる



ヤブガラシ

○悪い

○絵の具

○感想



こがね色のかぎでした。家のかぎよりは大きくて、手に持つほうが、しつぽみたいにくるんとまいています。

「落とし物かな。」

そう、小さく、声に出しました。すると、かぎは、りいこにまばたきするかのように光りました。

りいこは、元気を出して顔を上げました。落とした人が、きっとこまつてているにちがいない。帰り道の方角とはべつの、海べにある交番に向かつて、ゆるい坂を下りはじめました。

坂道にならんだいくつもの家をながめながら、このかぎは、どんな人が落としたのかなあと、りいこは、あれこれと思いうかべました。通りぞいにある、大きなさくらの木は、青々とした葉ざくらになっていました。その木のねもとを見て、りいこは、びっくりしました。

「あれは、何だろう。なんだかかぎがあるみたい。」

しぜんに空いたあなではなく、ドアのかぎのよう四角い金具が、みきについていて、そのまん中に円いあながあるのです。

「もしかして、さくらの木の落としたかぎだつたりして。」

まさか、ね、と思いながら、持つていたかぎをさしこんでみます。すると、すいこまれるように入つていき、回すと、ガチャンと、音がしました。



10

•円
い
•金
具



10

○坂
さか
○向
むかう
○持
もつ

「あつ。」

思わず、さけびました。木が、ぶるつとふるえたのです。そして、えだの先に、みるみるたくさんのがついて、ふくらんでいったかと思うと、ばらばらと何かがふつてきました。

「どんぐりだ。」

りいこは、悲鳴をあげます。さくらの木に、どんぐりの実がつくなんて。おさげの頭にコンコン当たるどんぐりを、ランドセルでふせぎながら、あわててかぎをぬきました。どんぐりの雨は、

ぴたりとやみ、さくらの木は、はじめの葉はぐらにもどっていました。

「びっくりした。」

りいこは、道の方に後ずさりしながら、言いました。

「こんなことになるなんて。さくらの木のかぎじやなかつたんだ。」

さらに下つていくと、公園があります。よく遊んでいる場所ですが、今日は、通りぬけるだけ。そのほうが、海への近道なのです。ところが、緑色のベンチの手すりに、小さなあなたが空いているのです。

「なんだか、あれもかぎあなに見えるんだけど、そんなはずないよね。」
りいこは、だれにともなくつぶやいて、通りすぎようとします。けれど、ふと立ち止まってしまいました。



○悲鳴
●

「でも、もしかして——」。

力チンとかぎを回す音が、あたりにひびきました。ベンチは、四本のあしをぐいとのばし、大きな犬のように、せなかをそらしました。

「わあ。」

りいこは、ひっくり返りそうになりました。日かげにいたベンチは、のそのそと歩きだすと、公園のまん中の日だまりにねそべり、そのままねいきを立てはじめました。りいこは、びっくりして見ていましたが、しのびよると、

•歩道



かぎをぬきとりました。ベンチは体をふるわせ、りいこの方を、なんだかうらめしそうにふり返つてから、元いた所に帰つていきました。

「ベンチのかぎでもないよね。歩くなんて、おかしいもの。」

りいこは、ためいきを一つついて公園を後にしてしまった。坂を下ると、大きな国道にぶつかります。その向こうには、海がきらきらと光っています。

交番までは、もう少し。おうだん歩道をわたらとしおのかおりがしてきます。道のわき



10

5

10

5

にあみが立ててあり、魚の開きが一面にならべてありました。りょうしさんがあじのひものを作っているのです。そばを通るとき、中の一匹に、円いあなが空いているのに気がつきました。

「お魚に、かぎあんなんて。」

へんだと思ひながら、見れば見るほど、やはり、ただのあなではなさそうです。いつしかすいこまれるよう、かぎをさしこんでいました。

力チャツ。たちまち、あじの開き



は、小さなかもめみたいに、はばたきはじめます。あつけにとられているうちに、あじは、目の前でふわふわとうかび上^あがりました。

りいこは、あわててとびつき、かぎを引きぬきました。開きは、元のあみの上^{うえ}に、ほどりと落ちました。

「あぶない。海に帰^{かえ}つちやうどこだつた。」

わたし、やつぱりよけいなことばかりしてしまう。りいこは、悲しくなりました。早く交番にどどけよう。

海岸通りをいそぎはじめたとき、ふとバスていのかんばんが目にに入りました。「バス」



10

5

10

5

•海岸
カイガ
•悲しい
かな
しい

という字の「バ」の点が、なぜか三つあるのです。その一つが、かぎあなたに見えました。

「どうしよう。」

りいこはまよいました。よけいなことはやめよう。そう思つたばかりです。そのとき、点の一つが、ぱちっとまたたきました。

「これで、さいごだからね。」

いつしかりいこは、かんばんの前でせのびをしていました。力チンと音がして、かぎが回りました。ところが、

10 5



何もおこりません。

ほつとしたような、がつかりしたような気持ちで、バスの時刻表を見て、りいこは「あつ」と言いました。数字が、ありのよう、ぞろぞろ動いていけるのです。五時九十二分とか、四十六時八百七分とか、どんなふうにちやく時間になっています。

「すごい。」

りいこは、目をかがやかせました。でも、すぐに、わくわくした自分がいやになりました。りいこは、かぎをぬき

10

5

とりました。

「あれ。どうして。」

時こく表の数字は、元には、もどりませんでした。

りいこはこわくなつて、にげるようになります。交番のある方へすなはまを横切ろうと、石だんを下りかけると、国道のずっと向こうから、車の音が聞こえます。ふり向くと、バスが十何台も、おだんごみたいにぎゅうぎゅうになつて、やつて来るのでした。

「わたしが、時こく表をめちゃくちゃにしたせいで。」

どうしよう。もう、交番にも行けない。

おまわりさんにしかられる。りいこは、かぎをぎゅっとにぎりしめて、立ちすくんでしました。

きみようなことは、さらにおこりました。つながつてきたバスが、りいこの前で止まり、クラクションを、ファ、ファ、ファーン、と、がつそうするように鳴らしたのです。そして、リズムに合わせて、くるくると、向きや順番をかえはじめました。りいこは、目をぱちぱちしながら、そのダンスに見みとれました。

「なんだか、とても楽しそう。」

そして、はつと気づいたのです。もし
かしたら、あのさくらの木も、楽しかつたのかもしれない。どんぐりの実をつけ



たのは、きっと春がすぎても、みんなと遊びたかつたからなんだ。ベンチも、たまには公園でねころびたいだらうし、あじだつて、いちどは青い空をとびたかつたんだ。

「みんなも、すきに走つてみたかつたんだね。」

しばらくして、バスはまんぞくしたかのように、一台一台といつもの路線に帰つていきました。そのとき、一つのまどの中に、りいこはたしかに見たのです。図工の時間にけしてしまつた、あのうさぎが、うれしそうにこちらに手をふつていてるのを。

りいこもうれしくなつて、大きく手をふり返しました。にぎつていたはずのかぎは、いつのまにか、かげも形もなくなつていきました。りいこは、夕日にそまりだした空の中で、いつまでも、その手をふりつづけていました。



○路線
齊藤倫
一九六九年、秋
県生まれ。詩人、作
家。「せなか町から、
ずっと」「どうだい」
などの作品がある。



見通しをもとう

登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう

- 様子や気持ちを表す言葉に気をつけましょう。
- ふしぎな出来事によって、登場人物にどのようなへんかがあつたかを考えましょう。

友だちの感想を読んで、感じ方がかわつたり、新しく発見したりしたことは何ですか。

この物語は、いくつかの場面に分けられます。

• 様子を表す言葉に気をつけて、ふしぎな出来事をそぞうしながら読みましょう。

• 場所と出来事に気をつけて、場面に分けましょう。

そして、それぞれの場面でおこったことと、そのどきの「りいこ」の様子や気持ちをたしかめましょう。

1 ノートのれい

- | 場面 | 「りいこ」の行動 |
|--------------------|--------------------|
| 学校の帰り道 | や、おこったことや、あなたを見つける |
| 坂道に向かう | • 「もう工の時間を |
| さくらの木にかぎをさしこむ「りいこ」 | • うつむきがち |
| かぎを拾う | • 「またよけいなことをし |
| 「りいこ」 | • 「りいこ」の行動 |
| さくらの木のかぎをさしこむ「りいこ」 | • ねもとにかぎ |
| かぎを拾う | • あなたを見つける |
| 「りいこ」 | • びっくり |
| さくらの木のかぎをさしこむ「りいこ」 | • 「りいこ」の行動 |

10

5

● 物語のさいしょとさいごでは、「りいこ」にどのようなへんかがありましたか。次のことについて、使われている言葉に気をつけて考えましょう。

• ふしぎな出来事にたいする「りいこ」の考え方

• 「りいこ」の気持ち

● 「おもしろいな」「すきだな」と思ったところを中心

に、次のようなじゅんじよで感想を書きましょう。

① 出来事や、「りいこ」という人物について、おもしろかったところやすきなどをえらぶ。

② そう思つた理由や、考えたことなどをまとめる。

③ 書きだしとむすびをくふうして、感想を書く。

2

2 感想のれい

この物語を読んで、「りいこ」とわたしは、なんだかにている気がしました。

わたしは、「りいこ」がまよいながらも、なんどもかぎをさしてしまってころがすきです。なぜかというと、わたしも。

「りいこ」とは、きっとなかよしの友だちになれる気がします。

- 書いたものを友だちと読み合い、自分の考えと同じところやちがうところについて、つたえ合いましょう。

10

5

- 知る
□ 読む
□ つなぐ
- どのよくなじゅんじよに気をつけて、様子や気持ちをそぞうしましたか。
- 登場人物のへんかに、それぞれの出来事はどのようにかかわつていましたか。
- 友だちの感想を読んで、感じ方がかわつたり、新しく発見したりしたことは何ですか。

• 行動



• 行動

むすび

書きだし

おもしろかつたところやすきなところとその理由



登場人物のへんかに
氣をつけて読む

● 登場人物がかわっていく様子を、次のようにしてたしかめましょう。

● どんな出来事がおこったか。

● そのときの登場人物の気持ちや様子は、どのような言葉に表れているか。出来事がおこる前と後とで、登場人物はどうかわったか。

いかそう

物語を読むときには、出来事で登場人物がどうかわるのかをたしかめましょう。

感

想

具

悪

拾

持

向

坂

悲

岸

路

グ

ア

ク

ジ

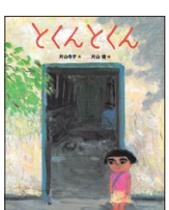
カ

カ

ヒ

とくんとくん

いつしょにひすい湖をめざす「とくんとくん」がだれなのか、かなこにはだんだん分かつてきました。



力ももがくられた三かくの海

ブランコががてなワタル。こつそりんしゅうしに来たら、子どもたちがたたずけることに――。

おばけ美術館へいらつしやい小学五年生のまひるがアルバイトで館長になつた美術館には、とんでもないひみつがありました。



この本、読もう

ふしぎなことがおこる物語です。出来事を通して、何がどうかわるでしょう。

俳句を楽しもう

声に出して楽しもう

俳句は、五・七・五の十七音で作られた短い詩です。ふつうは、「季語」という、きせつを表す言葉が入っています。俳句の十七音の中には、しづかの様子や、そこから感じられることが表されています。

声に出して読み、言葉の調子やひびきを楽しみましょう。

どこで区切って読むと、調子よく読めるか考えてみましょう。

○ 区切る

調子

俳句は、一句二句にというように、「句」を使って数える。

古池や蛙飛びこむ水の音

ひつそりとしづかの古池に、かえるが飛びこむ水の音が聞こえた。

松尾芭蕉

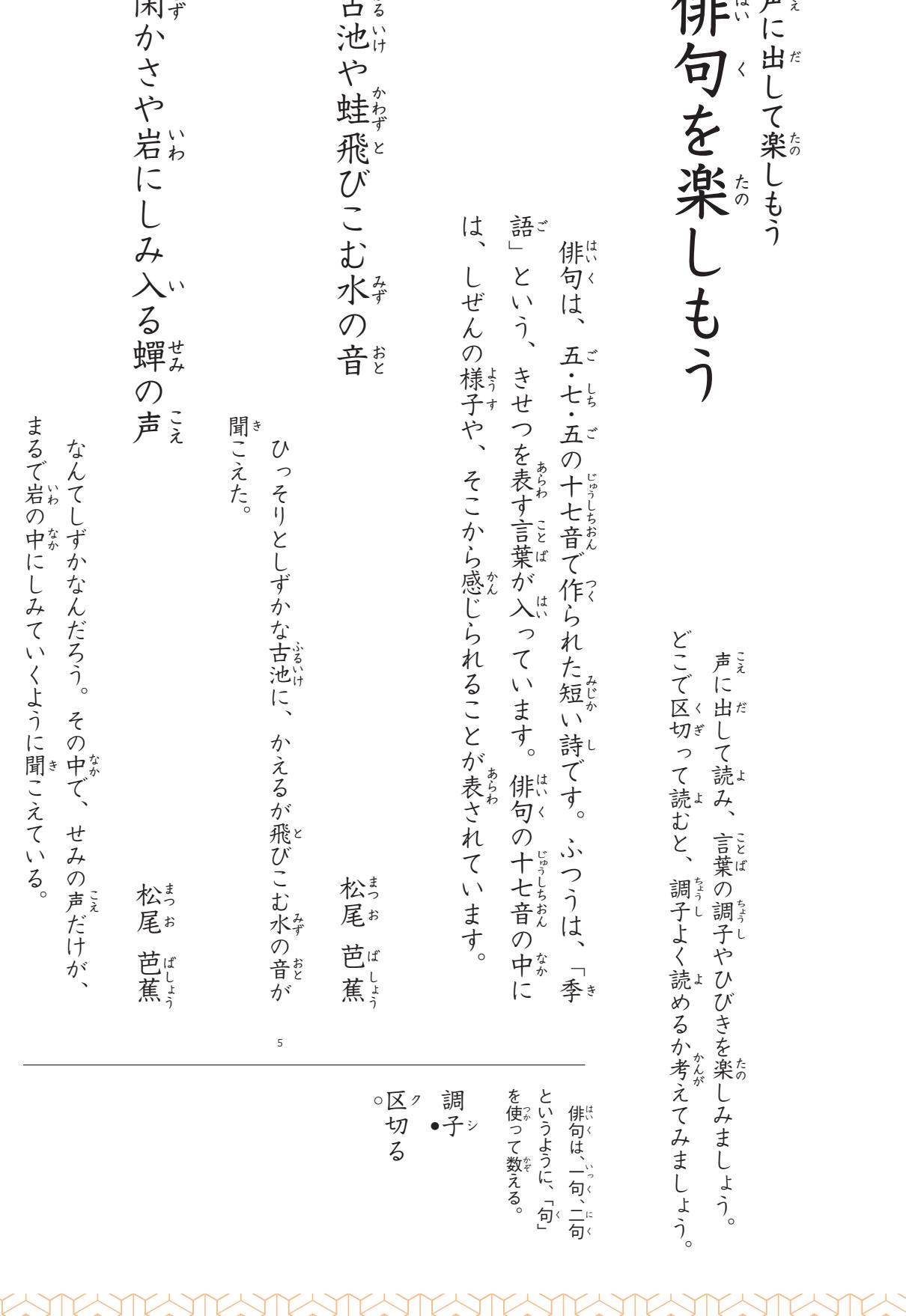
なんてしづかなんだらう。その中で、せみの声だけが、まるで岩の中にしみしていくようにながれていている。

5

ふるいけかわづと

まつおばしよう

154ページ



春の海終日のたりのたりかな

あたたかな春の日の海は、一日中、のたりのたりとうねつ
ているよ。

菜の花や月は東に日は西に

見わたすかぎりの菜の花ばたけ。月は東の空からのぼり
はじめ、太陽は西にしずんでいく。

雪とけて村いつぱいの子どもかな

雪がとけて、子どもたちがいつせいに外に出てきて、村
中にあふれかえつているよ。

夏山や一足づつに海見ゆる

山を登り、ちょうどが近づいてきた。一步すすむご
とに、明るい夏の海が見えてくる。

小林一茶

与謝蕪村

与謝蕪村

詩や歌の音の数

昔の詩や歌には、五音と七音を組み合わせて、調子を整えているものがたくさんあります。たとえば、「いろは歌」は、七音・五音のくり返しで作られています。声に出して読み、調子のよさを感じてみましょう。

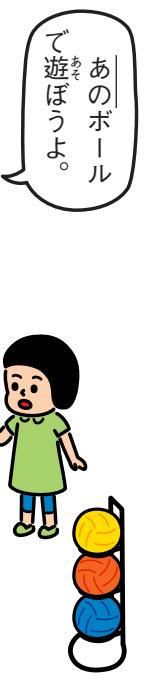
いろは歌

いろはにほへと
ちりぬるを
わかよたれそ
つねならむ
うふのおくやま
けふこえて
あさきゆめみし
ゑひもせす

「つねならむ」「あ
さき」「ゆめみし」など、昔の言葉の形がのこっているものを、文語といいます。また、昔の文章には、「けふ」と書いて「きよう」と読むなど、今は文字の読み方がちがうものがある。



こそあど言葉を使いこなそう



こそあど言葉は、次のように使い分けられます。

「この・その・あの」や「これ・それ・あれ」などは、何かを指ししめす言葉です。たずねるときには、「どの」や「どれ」などを使います。このような言葉をまとめて、こそあど言葉といいます。

5

様子	方向	場所	物事	こ
こう	こっち	ここ	この	これ
そな	そちら	そこ	それ	そ
あん	あちら	あそこ	あれ	あ
どう	どちら	どこ	どど	ど

こそあど言葉を使って話すときは、相手と自分が同じものを指しているかに、気をつけましょう。

15

1 こそあど言葉は、文章中の言葉を指しめすことができます。

5

○申しこむ ○童話 ○助言 ○練習 ○泳ぐ ○近所

申しこむ

- 1 次の文章のこそあど言葉に線を引き、それが何を指しているのかを考えましょう。
- 近所に新しいプールができました。
 - 次の土曜日には、そこで泳ぐ予定です。
 - しあいのつもりで練習するトイ。
 - これが、コーチからの助言です。
 - 童話の読み聞かせの会に申しこみました。あれは、三日前のことです。

10

5

このように、こそあど言葉を使うことで、文章を短くすることができます。

いからう
文章を読むときは、こそあど言葉が何を指しているかに、気をつけましょう。

10

5

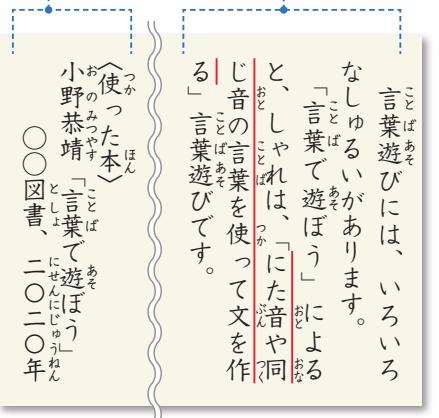
引用するとき

あつめるときに使おう



調べたことをほうこくするときには、本などに書いてある言葉と自分の言葉とを、くべつしなければいけません。
ほかの人の言葉を、自分の文章や話の中で使うことを、引用といいます。

- 1 かぎ(「」)をつけたり、本文よりも少し下げたりして、分かるようにする。
- 2 元の文章を、そのままぬき出す。
- 3 何から引用したのかをしめす。



正しく引用するために、次のことに気をつけて、調べたことを書きとめましょう。

ひらがな、かな、漢字も同じように書きうつす。

そのまま書きうつしたこと、後で分かるようにしておく。(書きうつしたぶぶんにかぎをつけなどしてもよい。)

書いた人、本の題名、何ページなのかを書く。出版社と発行年もたしかめる。

人から聞いたことを書くときも、かぎをつけて、だれの言葉なのかが分かるようにしましょう。行くをかえずに、つづけて書きます。

言葉遊びを楽しむイベントを毎月行っている、児童館の下山さんは、「何もなくとも、大人も子どもも楽しめるのが、しゃれのいいところです」と言っていました。

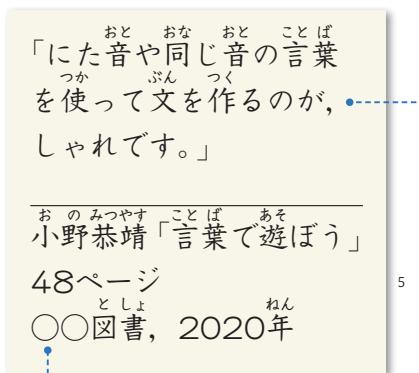
▼「こまを楽しむ」(50ページ)

から引用して、あなたがきょうみをもつたこまとその遊び方を、ひとつしそうかいしましよう。

いかそう

調べたことを書きとめるときに、何から調べたのかを書きましょう。

- 出版社
- 引用
- 160ページ



書きとめるときに、まちがえないように、気をつけよう。



10

5

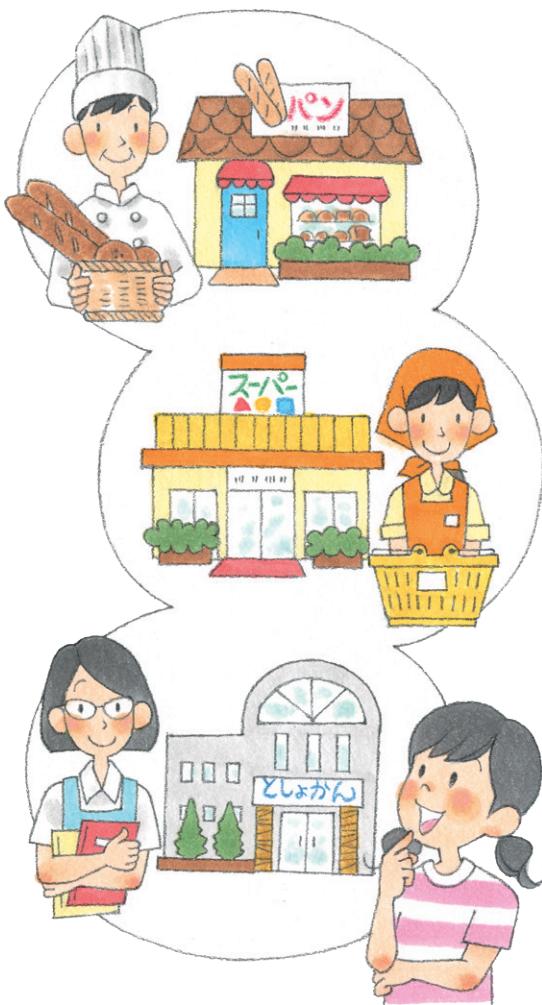
15

◆大人

仕事のくふう、見つけたよ

組み立てを考えて、ほうこくする文章を書こう

みんなの身の回りでは、いろいろな人が、いろいろなくふうをしながら、仕事をしています。仕事のくふうを見つけて、友だちにほうこくする文章を書きましょう。組み立てを考えて、分かりやすくつたえましょう。



1 調べたい仕事を決めよう。

身の回りにある仕事を、たくさんあげましょう。その中から、自分が調べたい仕事をえらびましょう。

同じ仕事を調べる人で、グループを作つてもいいね。



2 くわしく調べよう。

次のようにして調べましょう。

自分が調べたい仕事について、本などでたしかめ、知りたいことをはつきりさせる。

・どんなふうをしているのか、見たりきいたりして調べる。

・見つけたふうの中から、友だちが知っていることと、知らないことを予想し、つたえたいことをえらぶ。

・どんなふうをしているのか、見たりきいたりして調べる。

・見つけたふうの中から、友だちが知っていることと、知らないことを予想し、つたえたいことをえらぶ。

ひかりスーパー
店長の木村さん

しつもん
商品のならべ方でくふうしていることは何か。

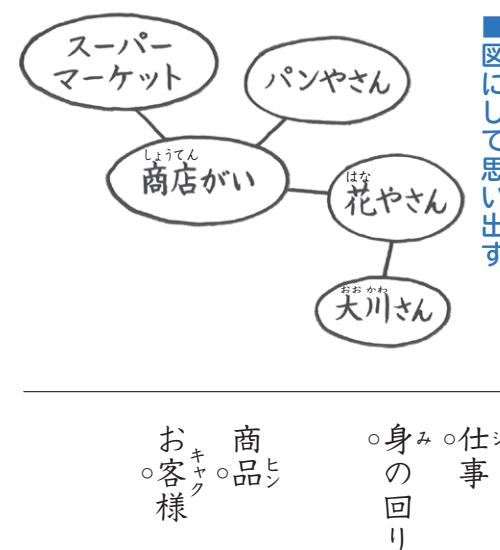
答え

- ・おすすめ品
- ・木村さんのお話
→お客様がよく通る場所に、

話を聞いたときのメモ

商品のならべ方でくふうしていることは何か。

木村さんのお話
→お客様がよく通る場所に、



3 ほっこくする文章の組み立てをたしかめる。

- 1 調べたい仕事を決める。
- 2 くわしく調べる。
- 3 ほっこくする文章の組み立てをたしかめる。
- 4 ほっこくする文章を書く。
- 5 読み合って、感想をつたえる。

● ふりかえろう

- つなげよう
- 書こう
- 組み立てよう
- 決めよう あつめよう

●たしかめよう
「一年生の学びをたしかめよう」
引用するとき

3 ほうこくする文章の組み立てをたしかめよう。

つたえたいことは、ないようのまどまりに分けましょう。

■谷口さんが書いた、ほうこくする文章

スーパー マーケット の商品 のならべ方 のくふう

1. 調べた理由

わたしは、買い物をたのまれて、よくスーパー マーケットに行きました。いつも、どのように商品をならべるのかが気になっていました。そこで、商品のならべ方のくふうについて、調べることにしました。

2. 調べ方

ひかりスーパーに行き、見学をしました。また、店長の木村さんには話をうかがいました。本もあわせて読みました。

3. 調べて分かったこと

(1) おすすめ品のおき方



ひかりスーパーでは、ちらしてせんでんした商品を、「おすすめ品」として売っています。おすすめ品には、そのきせつがいちばんおいしいやさいや、行事に合った食べ物などがあります。

おすすめ品は、お店のもっとも売りたい商品なので、くふうしておくそうです。木村さんは、「お客様がよく通る場所に、できるだけ広くおくようにして目立たせます。」とおっしゃっていました。

たしかに、お店を歩いているときに、きせつや行事に合った商品が目に入ると、わたしもつい手にとりたくなります。

(2) レジのそばの商品のならべ方

4. まとめ

スーパーで何気なく見ていたたなにも、一つ一つくふうがあることを知りました。とくに、おすすめ品を目立たせるために商品をおく場所や広さを考えていることに、おどろきました。こんど、スーパーに行くときは、お店の人にくふうをさがしながら買い物をしたいと思います。

5

10

15

20

25

- つぎのこと気につけて書きましょう。
- 仕事のことをよく知らない人にも分かるように、れいをあげて書く。
- 見たりきたりして分かったことと、考えたこととのちがいがくべつできるように、段落を分ける。
- 絵やしやしんをのせるときは、見せたいものがはつきり分かるものにする。

4 ほうこくする文章を書こう。

1

しらべたきっかけや
理由

2

しらべた
かた

3

しらべて分かったこと
(考えたことを書くこと
もある。)

4

まとめ
(考えたことや、思った
こと。)

分かつたこと	分かつたこと	考えたこと
● お客様がよく通ると ころに、おすすめの商 品がおいてある。	● レジのそばには、あめ やガムなどがおいて ある。	● 目につく場所にあると、 つい手にとりたくなる。
● ならんでいるときには、 買いわされた人が買 やすいようにして のだろうか。	● ならんでいるときには、 買いわされた人が買 いやすいようにして いる	

だいめい 題名	組み立てのメモ
スーパー マーケットの 商品 のならべ方 のくふう	
1. 調べた理由	
2. 調べ方	
3. 調べて分かったこと	
(1) おすすめ品のおき方	
(2) レジのそばの商品の ならべ方	
(3) 長いたなの商品の ならべ方	
4. まとめ	

5 読み合つて、感想をつたえよう。

書いた文章を読み合い、感想をつたえましょう。

■せつめいのしかたについて

■調べたことについて



おすすめ品を、どこに、どうおいているのかが、しゃしんがあつて分かりやすかつたよ。



商品をおく場所つて、こんなふうに考えられているんだね。知らなかつた。

たいせつ 組み立てを考え、ほうこくする文章を書く

- ・つたえたいことを、ないようのまどまりに分ける。

- ・分かたことと考えたことをくべつして書く。

- ・分かりやすい絵やしゃしんを使う。

社会や総合的な学習の時間などで、調べたことをほうこくするときには、組み立てを考えて、分かりやすくつたえましょう。

符号など

句読点

- ・句読点 丸(。) を句点、点(、) を読点、合わせて句読点といいます。句点は文の終わりに、読点は、文の中の意味の切れ目にうつて、文を読みやすくします。
- ・父は、銀行に行きました。
- ・おや、去年よりねだんが高くなりましたね。
- ・毛筆で書くと、気持ちが引きしまる。
- ・入学式の日も、遠足の日も、晴天だった。
- ・中点(・) 言葉をならべる場合に使います。
- ・タンポポ・オオバコ・シロツメクサなど。

10 5

句読点
トウ

160 ページ

ダツシユ(—)

- ・ダツシユ(—) ①せつめいをおぎなう場合、②言い切りにせず、どちらで止める場合に使います。
- ①辺——図形を作る直線。
- ②「まあ、なんてきれいな——」。

10

5

句読点
トウ

160 ページ

かぎ(「」)

- ・かぎ(「」) ①会話、②書名・題名、③思つたこと、④とくにほかの文と分けたい言葉や文をしめす場合に使います。
- ・横書き 左から右に書きます。
- ・読点として、多くの場合、コンマ(，)を使います。
- ・算用数字を使います。ただし、「一つ」など。
- ◆二日目

句読点
トウ

160 ページ



ふりかえろう

- 知る
- 書く
- つなぐ

分かつたことと考えたことをくべつするために、どんな書き方をしましたか。
調べたことを、どのようなまとまりに分けて書きましたか。
友だちの文章を読んで、まねしてみたいと思つた書き方はどこですか。



いかそう

- いかそう

社會や総合的な学習の時間などで、調べたことをほうこくするときには、組み立てを考えて、分かりやすくつたえましょう。

仕つかえる

身みシン

品しな

客キヤク

終おわる

銀ギン

去さる

筆ヒツ

式シキ

155 ページ

なつ 夏のくらし

身の回りで見つけた、夏を感じたものについて書きましょう。

はなび

鶴見正夫

ひの はな
さけ さけ

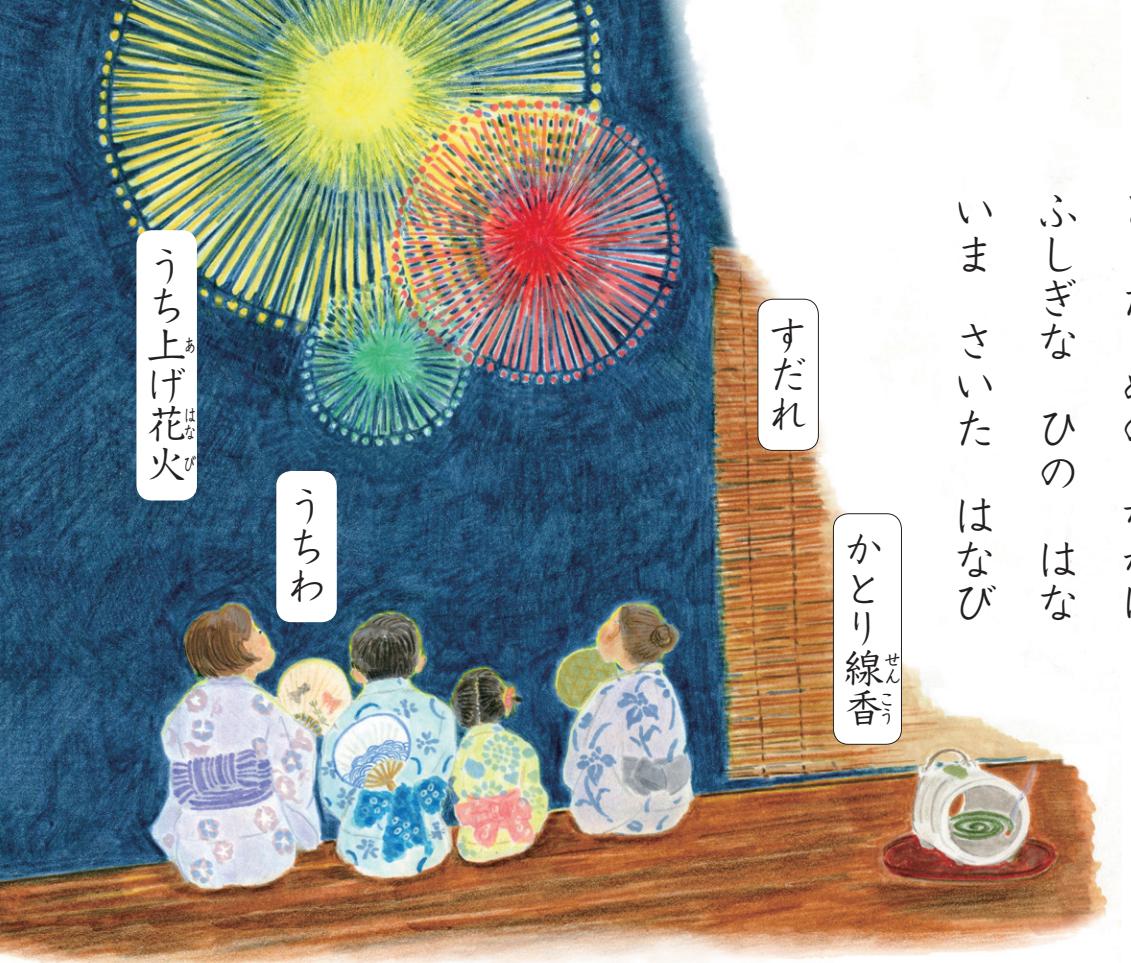
なつの よるの にわに

さいて ちつて

ちつて きえて

きえても まだ のこる

5



とじた めの なかに
ふしぎな ひの はな
いま さいた はなび

かとり線香

すだれ

うちわ



99



◆ あつい夏をのりきるためのくふうです。

今日はとてもあつかったので、夕方におばあちゃんといっしょにうち水をしました。家のにわに水をまくと、すずしくなったようしました。おばあちゃんが子どものころも、うち水をしていました。そうです。

5

98

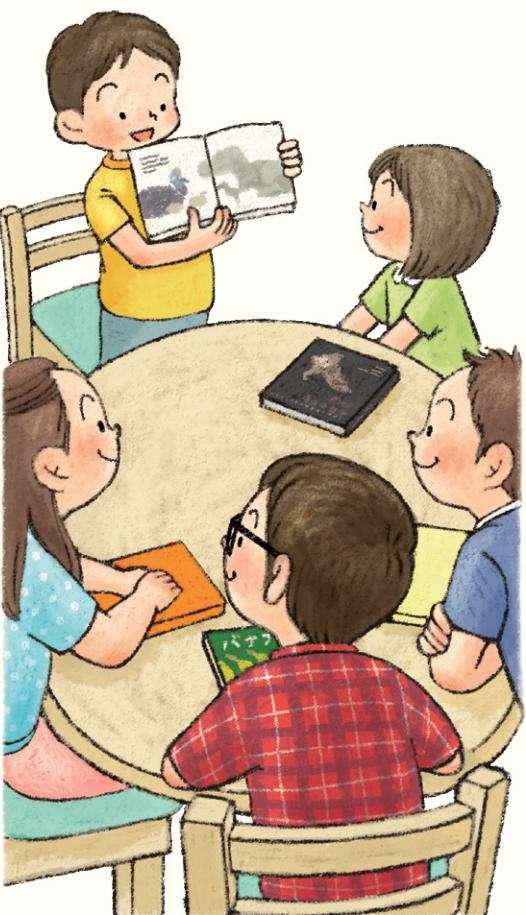
本
は
友
だ
ち

はじめて知つたことを 知らせよう

本を読むと、しぜんや生活、社会についての新しいちしきや、

今まで知らなかつた考え方に出会えます。

本を読んで、はじめて知つたことを友だちとつたえ合いましょう。



1 本を読んで何かを知つたときのことを、思い出そう。

1 本を読んで何かを知つたときのことを、思い出そう。
読書きろくを見返すなどして、本から何かを知つたときのことを思い出しましょう。



3 友だちとつたえ合う。

2 本を読んで何かを知つたときのことを、思い出す。
「鳥になつたきょうりゅうの話」
105ページ

●学習のすすめ方
1 本を読んで何かを知つたときのことを、思い出す。



- 1 で思い出したことにかんけいのある本を、さがすのもいいですね。
- 2 本をえらんで読みましょ。

図鑑や科学読み物などから、おもしろそだと思つ本をえらんで読みましょ。

5

図鑑

おもに、絵やしゃしん、図などを使って物事をせつめいした本。「植物図鑑」「動物図鑑」など、一冊に同じなかのものを数多く集めて、しまのものをかいしている。

科学読み物などの本

ふつう、一つの物事についてくわしくせつめいしている。題名に、せつめいされている物事や、そのとり上げ方が表れていることが多い。



知りたいことがあるときは、「目次」を使うと、目的のページを早く見つけることができます。

目次

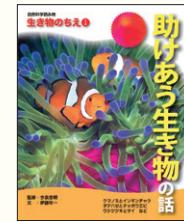
本のはじめにある。書かれている順に見出しをならべ、はじまりのページをしめしている。

もくじ	この本の使い方 4
【チ】	チッチゼミ 73 チビクワガタ 36 チャイロスズメバチ 59 チャタテムシのなかま 113 チョウトンボ 16 チョウのなかま 22
【ツ】	ツクツクボウシ 74
さくいん	162

ふつう、本の後ろの方にある。本の中に出てくる言葉や物事をぬき出して五十音順に整理し、どのページにあるかをしめしている。

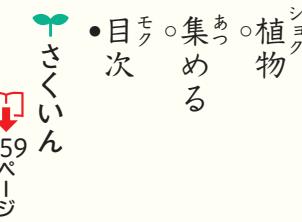
もくじ	この本の使い方 4
【ち】	チッチゼミ 73 チビクワガタ 36 チャイロスズメバチ 59 チャタテムシのなかま 113 チョウトンボ 16 チョウのなかま 22
【ツ】	ツクツクボウシ 74
さくいん	162

この本、読もう



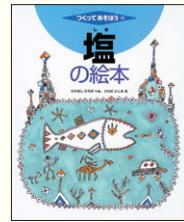
「本の世界を広げよう」

141ページ



• 目次
○ 集める
○ 植物

159ページ



あせは、しょっぱい味がしませんか。人は、塩がないと生きることができません。塩は、地球上のいろいろな場所にあるのです。

20

「ここにも、こけが!: 助けあう生き物の話」
四億二千五百万年前に地球上にあらわれた、こけのそせん。今日もどこかで、なまをふやしています。

15

ファーブル昆虫記

10

「ここにも、こけが!: 助けあう生き物の話」
クマノミとイングンチャクなど、助け合ってくらしている生き物たちの様子をのぞいてみましょう。

「ここにも、こけが!: 助けあう生き物の話」
四億二千五百万年前に地球上にあらわれた、こけのそせん。今日もどこかで、なまをふやしています。

5



「宇宙人っているの?」
宇宙には、わたしたちがくらす地球にいた星があるそうです。どんな生き物がいるか、そうぞうしてみましょう。

20

「たねのはなし」
花がさくまでに、十年もかかるたね。「二十五キログラムものも生まれるたね。あなたは、どんなたねが気になりますか。

15

たねのはなし

10

「たねのはなし」
鳥とさくようりゆうには、どのようなかんけいがあるのでしょう。読むと、びっくりしますよ。

「たねのはなし」
花がさくまでに、十年もかかるたね。「二十五キログラムものも生まれるたね。あなたは、どんなたねが気になりますか。

5

この文章は、105ページから読むことができます。
ぼくは、「とりになつたきようりゆうのはなし」を読むことにしたよ。

さくいん
159ページ

3 友だちとつたえ合おう。

本で知ったことを、発表しよう。友だちから聞いて、おどろいたり感心したりしたことはありましたか。しょうかいされた本を読んでみるのもいいですね。

発表のれい

ぼくはきょうりゅうがすきなので、「とりになつたきょうりゅうのはなし」という本を読みました。

この本には、鳥はきょうりゅうの生きのこりだと書いてありました。きょうりゅうの化石を調べてみると、鳥の体のつくりとよくにていのだからです。ふだん何気なく見ている鳥ですが、きょうりゅうのなかまだと知つて、とてもおどろきました。

どうしてきょうりゅうが鳥になつたのか知りたい人は、ぜひこの本を読んでみてください。

その本をえらんだ理由

- おどろいたこと
- 感心したこと
- ふしぎに思つたこと

本にきょうみをもつてもらうよびかけなどなどをしようかいる。

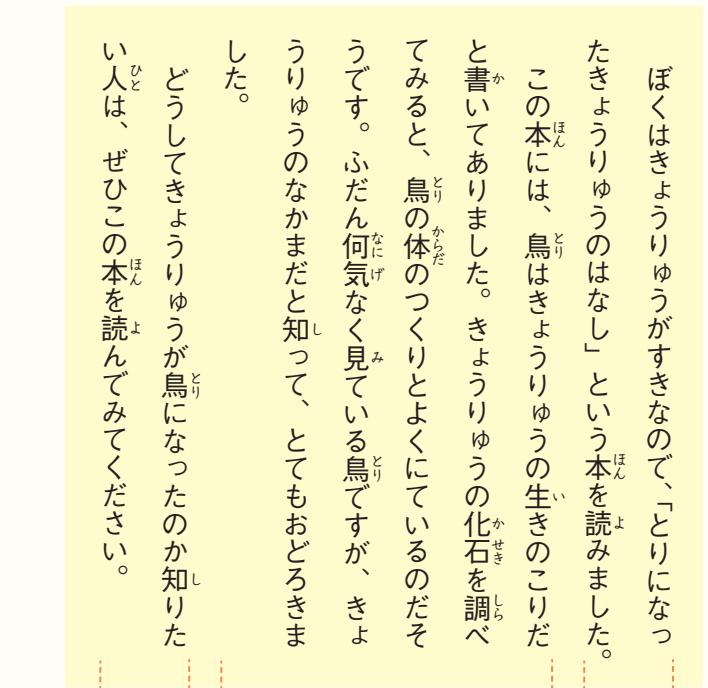
「言葉のたから箱」

157ページ

○化石

図鑑や科学読み物を読む

● 図鑑や科学読み物は、とり上げる物事について、絵やしゃしん、図などを使つたり、くわしくせつめいしたりして、分かりやすく書かれている。
● 図鑑や科学読み物で何かを調べるときは、目次やさくいんを使うといい。



読んでみよう



きょうりゅうの話

大島英太郎 文・絵え

あなたは、きょうりゅうの化石を見たことがありますか。

はくぶつ館などにあるきょうりゅうのほねの化石を見ると、わたしたちはその大きさにびっくりさせられます。こんなに大きな生き物たちが、本当にいたの

103ページでとりあげているものです。あなたにとって、はじめて知ることはありますか。

鳥になつた

大島英太郎 文・絵え

あなたは、きょうりゅうの化石を見たことがありますか。

はくぶつ館などにあるきょうりゅうのほねの化石を見ると、わたしたちはその大きさにびっくりさせられます。こんなに大きな生き物たちが、本当にいたの



です。

きょうりゅうがすんでいたのは、ずっととずうつと大昔のことです。そのころの地球はとてもあたたかくて、きょうりゅうたちにとつてはくらしやすい所だったのです。

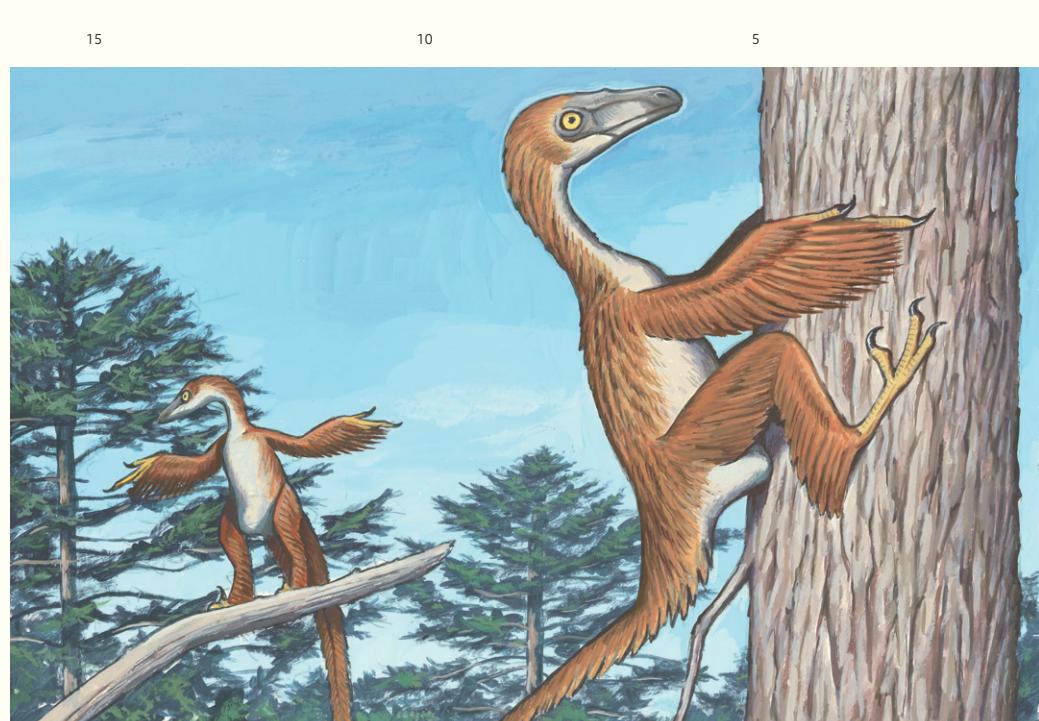
きょうりゅうには、植物を食べるものや、ほかのきょうりゅうをおそって食べる肉食のものなど、いろいろなしゆるいがいました。見た目もさまざま、体がかたいうろこにおおわれているものもいれば、ふさふさとした羽毛が生えているもの、そのりょうほうをもつものもいました。

ところで、きょうりゅうは、みな大き

かつたわけではありません。なかには、ねこや犬ぐらいの大きさのきょうりゅうもいて、すばやく走り回しながら、とかげやねずみににた動物などをつかまえて食べていました。これらの小さなきょうりゅうたちにも、羽毛が生えているものがいました。

やがてそれらの中に、木の上でくらすものがあらわれました。木の上なら、地面の上どちがっててきにおそわれることも少ないし、えさとなる虫などもたくさんいたからです。

これらのきょうりゅうは、体がかるかつたので、手あしをバタバタと動かして木に登ることができました。



15

10

5

15

10

5



化石
古い時代の生物や生き物の生活のあとが、地中にこされたもの。

たちのしそんは、とても長い年月がたつうちに、木から木へととびうつってくらすようになりました。

そして、それらのしそんの中には、手あしに生えている羽毛が長くのびて、つばさの形になつたものがあらわれたのです。

やがて、空をとべるようになつたきょうりゅうたちは、食べ物をもとめて遠くまでとんでいくようになりました。

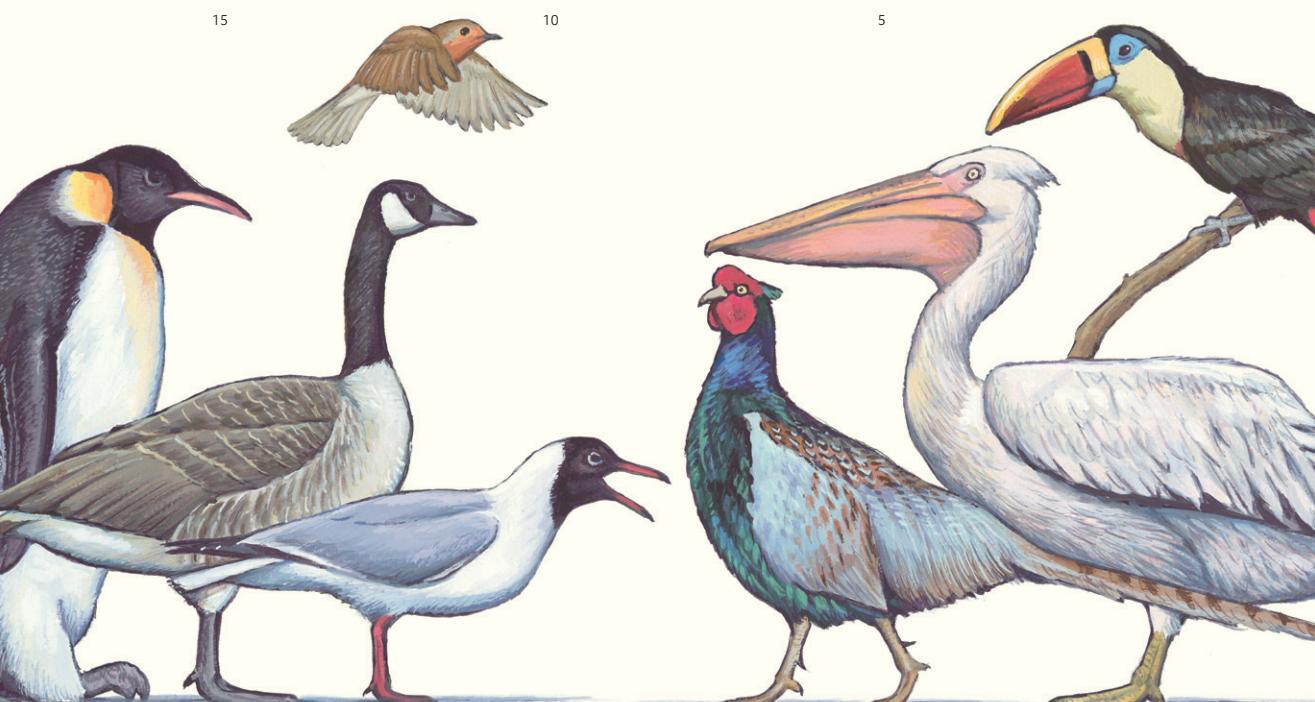
そのころの地球では、地上を歩く大きなきょうりゅうと、つばさのある小さなきょうりゅうとが、いっしょにえさをとるすがたが見られたことでしょう。

ところが、今から六千六百万年ほど前まえ

のこと、地球の様子が大きくかわり、大きなきょうりゅうのなかまはほとんど死にたえてしまします。けれども、つばさをもち、とぶことのできる小さなきょうりゅうのしそんだけは、生きのこりました。そして、これらのきょうりゅうは、今でもすがたをかえて生きているのです。

それが鳥なのです。鳥は、生きのこつたきょうりゅうだつたのです。

鳥ときょうりゅうとでは、ずいぶんちがっているように見えますね。でも、ほねやあしのつき方など体のつくりをよく調べてみると、とてもにているのです。大きさはどうでしょう。ほとんどの鳥は、きょうりゅうよりずっと小さな体を



死にたえる



しています。なぜ、鳥たちはこのように小さくなつたのでしょうか。

それは、空をとぶには小さくてかるい体のほうが都合がいいからです。また、小さければ食べ物も少なくてすみます。小さくなつた鳥は、花のみつや草のたねなど、ほんの少しのえさを食べて生きていくるようになつたのです。

ところで、鳥の中にはとてもうつくしい羽毛をもつものもいます。昔のきょうりゅうがどんな色をしていたのかは、長い間、そうぞうするしかありませんでした。しかし、手がかりがのこつた羽毛の化石が見つかり、少しづつきょうりゅうの色が分かつてきます。もしかしたら、おしどりのように色あざやかなきょうりゅうもいたかもしませんね。

おしどり
かものなかまで、おさはうつくしい色の羽をもつ。

した。しかし、手がかりがのこつた羽毛の化石が見つかり、少しづつきょうりゅうの色が分かつてきます。もしかしたら、おしどりのように色あざやかなきょうりゅうもいたかもしませんね。

おしどり

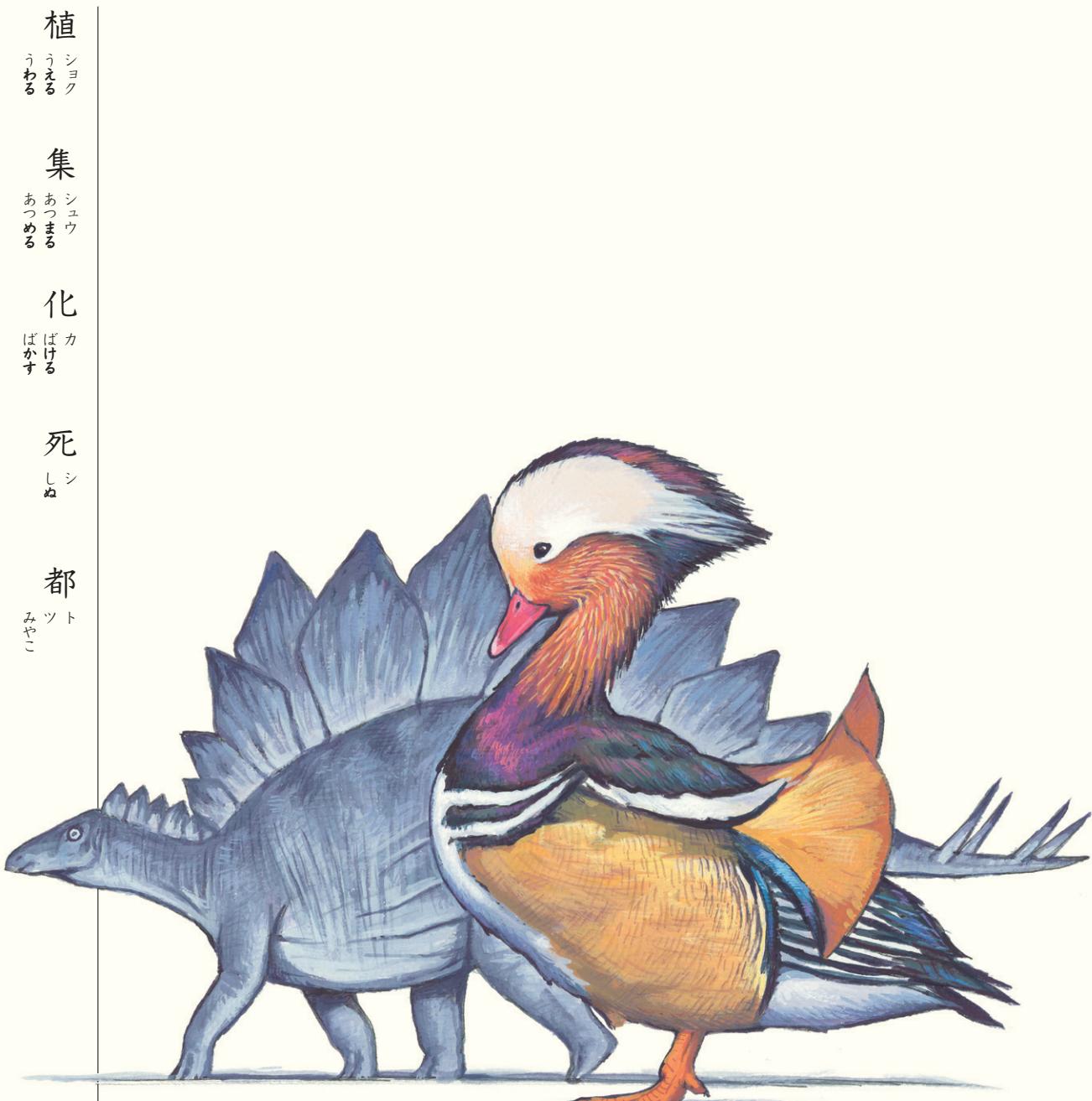
かものなかまで、おさはうつくしい色の羽をもつ。



昔々大昔の地球を歩き回っていたティラノサウルスやブラキオサウルスなどの大きなきょうりゅうたちは、もういません。けれどもそのかわり、鳥という小さなきょうりゅうのなまは、今も元気にこの地球で生きているのです。

○都合
ティラノサウルス
全長やく二十五メートルになる、大型の草食ききょうりゅう。

ティラノ
サウルス



大島英太郎
一九六一年、栃木県生まれ。絵本作家。「羽毛恐竜」などの作品がある。



わたしと小鳥とすずと

金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、
お空はちつともとべないが、
とべる小鳥はわたしのように、
地面をはやくは走れない。

5



わたしがからだをゆすつても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのように
たくさんなうたは知らないよ。

5



すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがつて、みんないい。

○両手

夕日がせなかをおしてくる

阪田 寛夫

夕日がせなかをおしてくる
まつかなうでおしてくる

歩くぼくらのうしろから
でつかい声でよびかける

さよなら さよなら

さよなら きみたち

ばんごはんがまつてるぞ
あしたの朝ねすごすな

夕日がせなかをおしてくる
そんなにおすなあわてるな

ぐるりふりむき太陽に
ぼくらも負けずどなるんだ

さよなら さよなら

ばんごはんがまつてるぞ
あしたの朝ねすごすな

- それぞれの詩について、一連目と二連目をくらべながら読みましょう。
- 「いいな」と思つたところや、言葉について話しましょう。

学習



夕日がせなかをおしてくる

この本、読もう
わたしと小鳥と
すずっと

159ページ

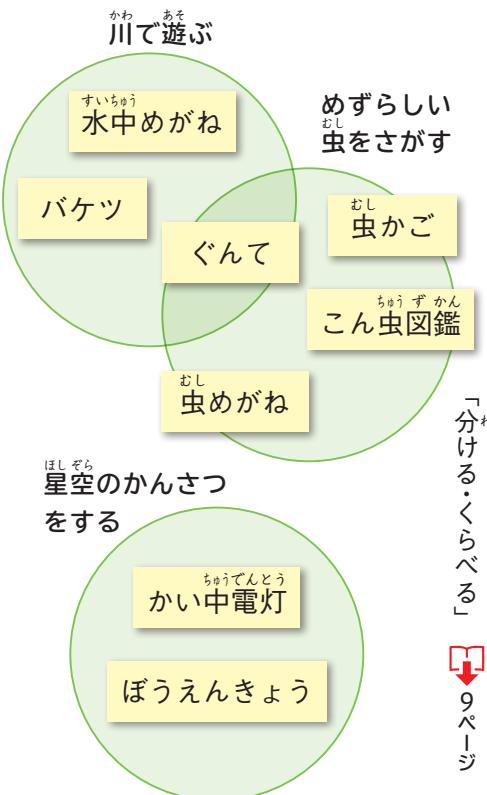
○負ける

連
一行空きなどを入れて区切られた、詩の中のまとまり。

山小屋で三日間すごすなら



- 考えを広げる話し合い
- たがいの考えをみとめ合い、全員で出し合つ。
- 出された考えを、なかま分けして整理する。



5

1 グループで、したいことと、持つていきたい物をたくさん出し合いましょう。そして、出され

た考えを整理しましょう。

「分ける・くらべる」

9ページ

- 考えをまとめる話し合い
- 目的にそつて、大事なことの順番を考える。
- より多くの人が大事だと考えたものをえらぶ。
- 話し合ふときは、考えを広げるのか、まとめるのかをはつきりさせて、話し合ひ方を決めましょう。



5

2 みんなでしたいことを決めて、

グループで持つしていくものを五つまでえらびましょう。

△持ち物の決まり

- 食料、水
- 着がえ
- このほか、グループで五つまで持つていける。





生活の中で読もう

ポスターを読もう

身の回りには、さまざまなおもてなしや、おもてなしの仕事があります。ポスターを読むときには、どんなことに気をつけるとよいでしょうか。

1 ポスターを見てみよう。

ポスターは、行事のあんない、マナーのよびかけ、商品のせんでんなど、知らせたいことを一まいの紙にまとめたものです。言葉と写真、絵などを組み合わせて、人を引きつけるくふうがされています。

▼「ポスターのれい」を見て、くふうしていると思うことを話し合いましょう。

■ ポスターのれい



10月27日(木)～11月9日(水)
14日(土)開幕

2016 第70回 読書週間

絵や写真



キャッチコピー

10月27日は文字・活字文化の日

2 ポスターをくらべて読もう。

村田さんのお住まいでは、「コスモス祭り」が行われます。このことを知らせるために、120・121ページの(ア)・(イ)のポスターが作られました。

①どちらのポスターのほうが、お祭りに行きたくなりますか。理由とともに、友だちと話しましょう。

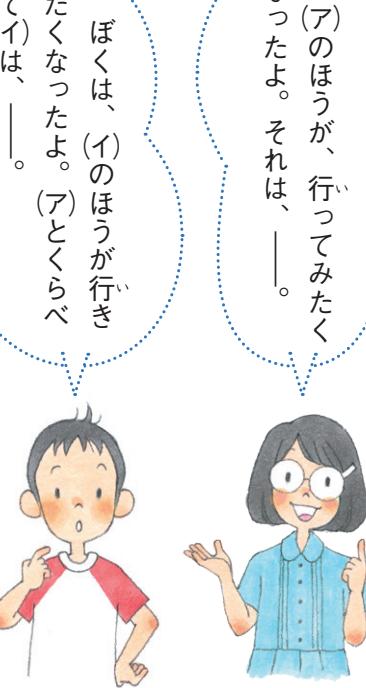
- ・(ア)のほうが、行つてみたいなつたよ。それは、――。
- ・(イ)のほうが、行つてみたいなつたよ。――。(ア)とくらべて(イ)は、――。

②二つのポスターをくらべて、次のことをノートにまとめましょう。

- ・どちらにもあること
- ・どちらかだけにあること
- ・しめされ方がちがうところ

「分ける・くらべる」

9ページ



• ポスターを見るときには、言葉と写真や絵のかかわりに気をつけて、ないようをとらえる。
• ポスターが作られた目的や、知らせたい相手を考える。

○写真
○キヤツチコピー
○相手を引きつけるようにくふうされた、短い言葉。
○祭り
○160ページ

写
うつる

真
ましん

祭
まつり

まつり
サイ

(イ)



(ア)



へんとつくり

漢字には、右と左の二つの部分に分けられるものがあります。

次の□と□のカードを組み合わせて、あなたが知っている漢字を作つてみましょう。



へん

語

詩

調

話



「言」のように、漢字の左がわにあって、おおまかに、左がわに「言」という形があります。ほかにも、左がわに「言」をもつ漢字を集めると、「記」「読」などのように、言葉に関係のある漢字が多いことが分かります。

「言」の右がわにおかれる部分を、「つくり」といいます。つくりが、おおまかに意味を表すこともあります。

たとえば、「顔」と「頭」の右がわは、どちらも「頁」です。これは、「おおがい」といい、もともと人の頭をえがいた形です。それで、おおがいのついた漢字は、頭部に関係があります。

木

きへん

木

(鉄板・羽子板)

イ

にんべん

イ

(休日・夏休み)

(関係・図書係)

ミ

さんずい

ミ

(油田・油絵)

(開港・港町)

- 1 「きへん・にんべん・さんずい」のついた漢字は、それぞれ何に関係があるでしょう。



- 2 「動」と「助」のつくりは、どんな意味を表しているか、考えてみましょう。



部ブ

係ケイ

板バン

柱チユウ

油ユ

港コウ

10

5

時計

②のばす音は、「おかあさん」→「okāsan」のように、ふつう、a・i・u・e・oの上に「^」をつけて書き表します。
▶ローマ字で書きましょう。

otōsan onēsan
おとうさん おねえさん おにいさん

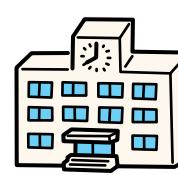
③つまる音は、「きっぷ」→「kippu」のように、次に来る音のはじめの文字をかさねて書き表します。
▶声に出して読んでみましょう。



kitte



rakko



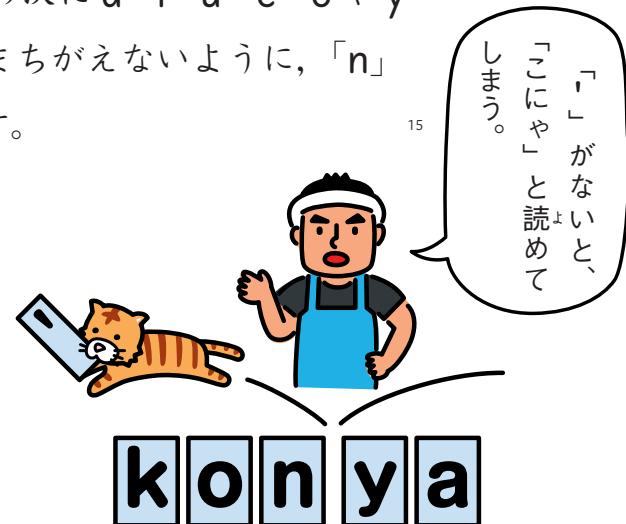
gakkō

▶ローマ字で書きましょう。

sippo gakkyū
しっぽ がっきゅう なっとう

④はねる音「ん(n)」の次にa・i・u・e・oやyが来るとときは、読みまちがえないように、「n」の後に「'」をつきます。

全員 → zen'in
今夜 → kon'ya



konya

⑤人名や地名を書くとき、ふつうは、はじめの文字を大文字で書きます。地名などは、全部を大文字で書くこともあります。また、言葉をつなぐしとして「-」をつけることもあります。

Yamazaki Kenta Inoue Kazuko
TŌKYŌ Kagawa-ken

③「し」や「ち」のように、書き方が二つあるものがあります。
127ページの表を見て、たしかめましょう。

しま → sima [shima] みち → miti [michi]
つる → tsuru [tsuru] ふた → huta [futa]

▶わたしたちの身の回りでは、[] 内の書き方が多く使われています。さがしてみましょう。



いかそう
自分や友だちの名前の読み方をつたえるとき、ローマ字でも書いてみましょう。

今
•夜ヤ

■ローマ字

おおもじ 大文字	ア段 ア段	イ段 イ段	ウ段 ウ段	エ段 エ段	オ段 オ段			
小文字	A/a	I/i	U/u	E/e	O/o			
ア行	あ a	い i	う u	え e	お o			
カ行	K/k	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きや kyा	きゅ kyu
サ行	S/s	さ sa	し si [shi]	す su	せ se	そ so	しゃ syा [sha]	しゅ syu [shu]
タ行	T/t	た ta	ち ti [chi]	つ tu [tsu]	て te	と to	ちゃ tyа [cha]	ちゅ tyu [chu]
ナ行	N/n	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu
ハ行	H/h	は ha	ひ hi	ふ hu [fu]	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu
マ行	M/m	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu
ヤ行	Y/y	や ya	(い) (i)	ゆ yu	(え) (e)	よ yo		
ラ行	R/r	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu
ワ行	W/w	わ wa	(い) (i)	(う) (u)	(え) (e)	を (o) [wo]		
ン		ん n						
ガ行	G/g	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎや gyа	ぎゅ gyu
ザ行	Z/z	ざ za	じ zi [ji]	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ zyа [ja]	じゅ zyu [ju]
ダ行	D/d	だ da	ぢ (zi) [di]	づ (zu) [du]	で de	ど do	ぢゃ (zyа) [dyא]	ぢゅ (zyu) [dyu]
バ行	B/b	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu
パ行	P/p	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ペ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu

[] の中の書き方も使うことができる。() は、かさねて出してあるもの。

1 127ページのローマ字の表を見てみましょう。

ア行の音は、1字で表されます。

a i u e o
あ い う え お

力行から下の音は、2字いじょうが組み合わされています。

表をたてに見てみましょう。ア段の音には、全部「a」がついています。

ka sa ta na ha ma ya ra wa
か さ た な は ま や ら わ

次に、横に見てみましょう。力行の音には、全部「k」がついています。

ka ki ku ke ko
か き く け こ

►ほかの段や行は、どのように表しているでしょう。

2 ローマ字には、次のような決まりがあります。

①「きゃ」「きゅ」「きょ」などの音は、「kyा」「kyu」「kyo」のように、3字で書き表します。

►ローマ字で書きましょう。

tyawan densya
ちゃわん でんしゃ きんぎょ

「たいせつ」のまとめ
知りたいことの見つけ方、
手紙の書き方
げんこう用紙の使い方
ひらがなとかたかな

140 138 136 134 130

本の世界を広げよう
とかげとぞう
これまでに習った漢字
この本で習う漢字
言葉のたから箱

157 152 148 144 141

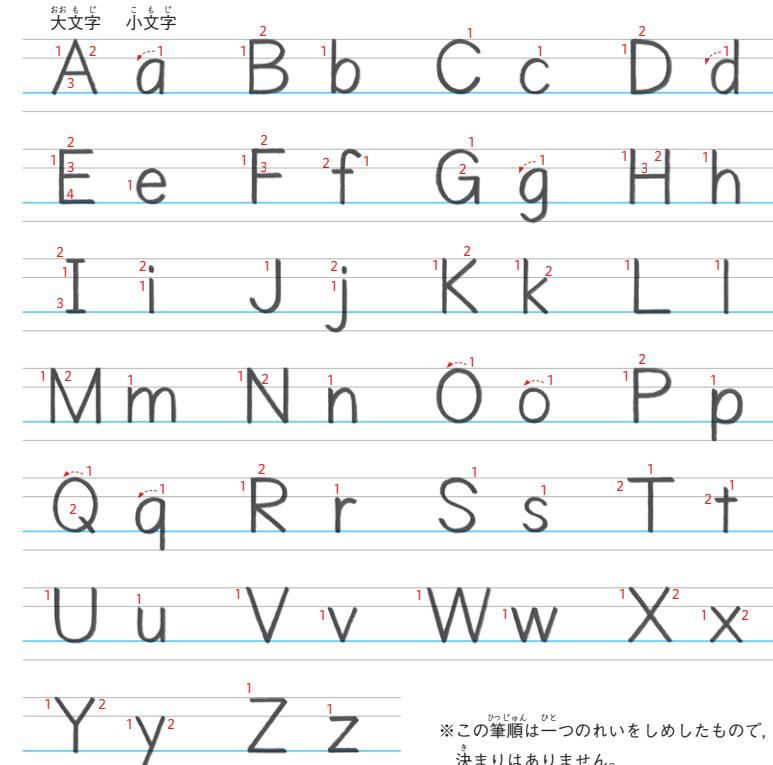
学習を広げよう



言葉 ローマ字

日本語は、ひらがな・かたかな・漢字のほかに、アルファベットのいくつかを使って、書き表すことができます。このような書き表し方を、ローマ字表記といいます。

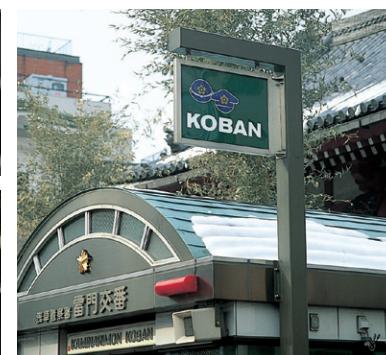
■アルファベット



※この筆順はひとつのれいをしめしたもので、決まりはありません。



ローマ字表記は、わたしたちの身の回りのさまざまなところで使われています。





たいせつ

「たいせつ」のまとめ

この本で学習する、大切なことをまとめてあります。
・たしかめたり、他の学習で使ったりしましよう。

・できるようになったことを、どんな場面でいかしたいですか。
くつらんに書きましょう。

がくしゅう すす かた
学習の進め方はな き
話す・聞くつなげる ◀ 話す・聞く ◀ じゅんびする ◀ 決める
集めるがくしゅう すす かた
学習の進め方かく
書くつなげる ◀ 書く ◀ 組み立てる ◀ 決める
集める

10

5

63ページ

こんな場面でいかそう

あんないの手紙を書く

へないようについて

●相手が来るためにひつよくなことを考える。

●来てほしい気持ちをつたえる。

へ書き方にについて

●ていねいな言葉を使い、文字を正しく書く。

96ページ

組み立てを考えて、ほつこくする文章を書く

- つたえたいことを、ないようのまとまりに分ける。
- 分かったことと考えたことをくべつして書く。
- 分かりやすい絵やしゃしんを使う。



5

43ページ

こんな場面でいかそう

話を聞いて、しつもんする

●知りたいことについて、どのようにしつもんする
とよいかを考える。
させる。

- 話す人の方を見ながら聞く。
- 話のないようや、自分が知りたいことをはつきり
させる。



せつめいする文章

こんな場面でいかそう

58ページ

- 文章は、「はじめ」「中」「おわり」などの大きなまとまりに分けられる。大きなまとまりは、一つ、またはいくつかの段落でできている。
- 一つの段落には、それぞれ、ひとまとまりのないようが書かれている。
- 「問い合わせ」と「答え」に気をつけると、文章全体の組み立てや、段落の中心をとらえることができる。



場面のよすや、登場人物の気持ちをとらえる

28ページ

つぎのよすな言葉に気をつけて、よすや気持ちをとらえる。

- したことをあらわす言葉
- 言つたことをあらわす言葉
- 気もちをあらわす言葉

15

登場人物のへんかに気をつけて読む

84ページ

- どんな出来事がおこったか。
- そのときの登場人物の気持ちや様子は、どのようにしてたしかめる。
- どんな出来事がおこったか。
- 出来事がおこる前と後とで、登場人物はどうかわったか。
- 図鑑や科学読み物は、とり上げる物事について、絵やしやしん、図などを使つたり、くわしくせつめいしたりして、分かりやすく書かれている。
- 図鑑や科学読み物で何かを調べるときは、目次やさくいんを使うとよい。

読書

104ページ

〈読書〉

15

10

5

〈物語〉

5

10

知りたいことの見つけ方、調べ方

調べよう

決めよう

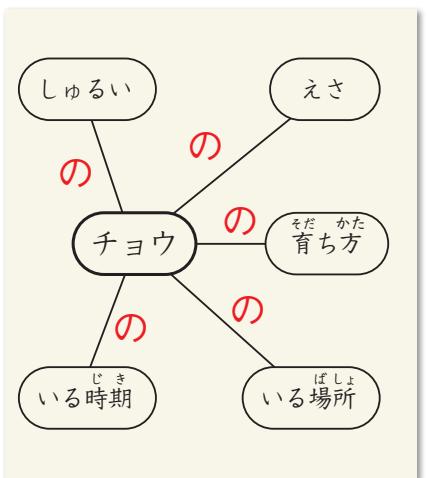
1 「調べたいことを見つけよう

次の手順で調べたいことを見つけましょう。

- ① 大きなテーマを考える。
- ② その中でも、とくに知りたいことを考える。

つないで考える

「調べたいな。
チョウについて」



真ん中に大きなテーマを書き、「の」につづくものをむすびつけていきます。
(れい) チョウ「の」いる場所

「答え」を見つけるための調べ方を考えましょう。
調べても分からることがあるときは、調べ方を見直しましょう。

決めよう

3 「調べよう

The flowchart shows the following steps:

- Problem Identification:** A boy says, "チョウのいる場所はどこか。" (Where is the place where Chou is?)
- Topic Selection:** A boy says, "モンシロチョウは、ひ日のよい場所がすきなんだ。" (Monshiro Chou likes sunny places.)
- Gathering Information:** A boy reads a book and says, "この本をどう読よめばいいんだろう。" (How should I read this book?)
- Information Analysis:** A boy reads a book and says, "はじめて知ったことを知らせよう。" (Let me tell you about the new things I learned.)
- Information Organization:** A boy writes in a notebook and says, "100ページ" (100 pages).
- Consultation:** A boy asks a teacher, "もうと知りたい、友だちのこと" (I want to know more about my friends.)
- Interview:** A boy asks another person, "いる場所がちがうのですよ。" (The place where it is is different.)
- Conclusion:** A boy writes in a notebook and says, "40ページ" (40 pages).
- Sharing:** A boy asks, "くわしい人に聞く" (Ask someone who knows well.)
- Report:** A boy writes in a notebook and says, "30ページ" (30 pages).
- Final Summary:** A boy says, "ほんで調べる【図書館】" (Check it at the library).
- Final Statement:** A boy says, "どのたなを見ればいいかなあ。" (What should I look for?)

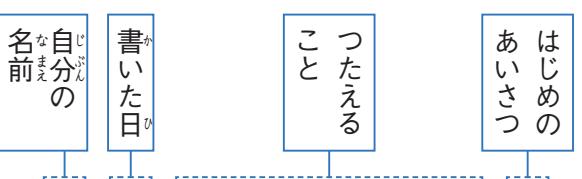
手紙の書き方

はがきで書くとき

はがきは、ふうとうに入れる手紙（ふうしょ）よりも、気軽に書ける手紙です。

ただし、ふつうは大きさが決まっていて、書けるりょうがふうしょよりも少くなります。大事なことを落とさないようにしましょう。

5



高村先生、お元気ですか。ぼくは元気です。
五月三十日（土）の午前九時から、ひかり小学校
で運動会があります。
ぼくは、八十メートル走の
れんしゅうをがんばっています。
ぜひ、見に来てください。
五月十二日

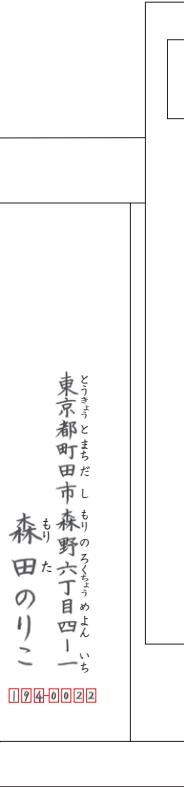
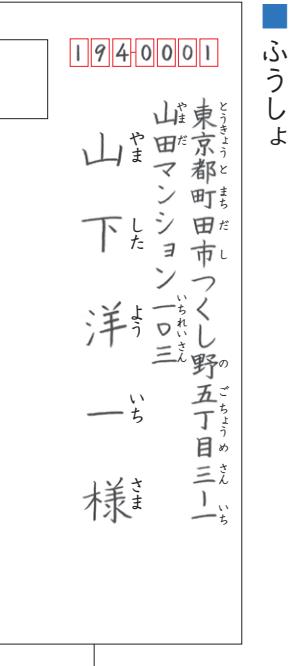


八十メートル走
運動会

あて名の書き方

- 相手の住所
右がわに書く。二行になるときは、区切

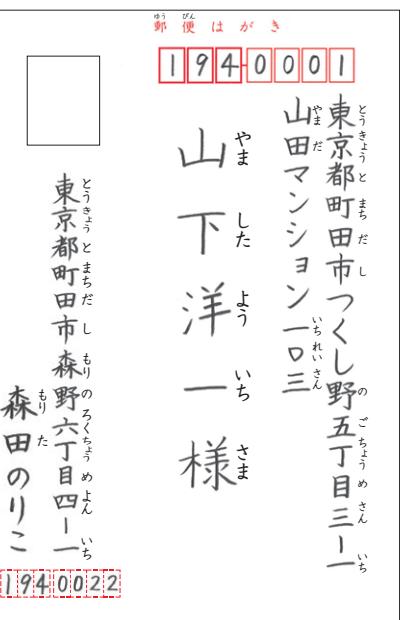
5



- 相手の名前
「中」と書く。

10

はがきの場合は、ふうとうのうらに書く。
相手の住所や名前より小さめの字で書く。



げんこう用紙の使い方

げんこう用紙に書くときには、書き方に気をつけましょう。

文章を書き終わったら読み返して、まちがっているところや

分かりにくいところがあれば、直しましょう。

題名は、はじめの行に、上から二、三ます空けて書く。

5

足もとのどうぶつたち

上田はると

日曜日に、お母さんとおにいちゃんと、遠くにすむおばあちゃんに会いに行きました。

くにすむおばあちゃんに会いに行きました。

そこで、みんなでいっしょにどうぶつ園に行つたり、ぼくは、どうぶつのしゃしながつい

たマンホールのふたを見つけました。見ていると

ダのしゃしながついていました。見ていると

ぼくが見つけたふたには、色のついたパン

た。そこで、そこでもう一つ、お母さんと一緒にどうぶつ園に行つたり、ぼくは、どうぶつのしゃしながつい

長い文を分ける、言葉の重なりをなくす、言葉が足りないところをおぎなうなどして、整える。

話した言葉は、行をかえ
て、かぎ(「」)をつけて書く。
言葉の終わりの句点とか
ぎ(。)は、一まことにいつ
しょに書く。

句点や読点が行のはじめ
に来ないよう、前の行の
いちばん下のまことに、文字
の下に書くことがある。

空ける。
行をかえたら、一ま

一まことに書く。
句点(。)や読点(、)は、
書き始めは、一まことに
ける。



読書ゆうびん

「ぞうのミニカキ」
(まど・みちお詩)
まどさんの詩を読む
と、身の回りの物がち
がつて見えてくるよ。
ぜひ一度読んでみて。

おもしろかつた本をはがきなどに書いて、友だちと知らせ合いましょう。読んでみたい本は見つかるでしょか。
(れい)

詩・言葉

ともだち

ともだち
和田誠 絵
谷川俊太郎 文

友だちって、どんな人のことでしょう。友だちがいるときでできることって、何でしょうか。あなたにどう友だちはあります。

問題
きのこは、どうやってふえるでしょうか。
答えの分かる本
「きのこ」埴沙萌 写真・文

本のクイズカード作り

本を読んではじめて知ったことや、友だちに教えることを問題にして出し合いましょう。
(れい)

ぞうのミニカキ

まど・みちお詩
フィリップ・ヴィダレン 写真
コップ、くつ下、安全ピン。これは、ありふれた「物」たちの詩集です。はさみやペンチにも、物語があるのです。

ぼくのチャレンジ
3年1組 山田りょうた

もくひょう
• 教科書の「本の世界を広げよう」にある本を、10冊以上読む。
• 読んだ本を、おもしろかった順に、みんなにしようかいする。

計画
• 4月～7月 読書
• 8月 じゅんび
• 9月 しようかいする

チャレンジ読書

どんな本を、どれぐらい、どのように読むか、自由にもくひょうと計画を立て、読書を楽しみましょう。
(れい)

読み終わった本には、□にしるしをつけましょう。

あるひあひるが あるいていると

あるひ あひるが
あるいでいると
あるひ あひるが
あるいでいると

「あるひ あひるが ある」と。そう。全ぜい
はなぶつて いる。そう。全ぜい
この部の言葉に「あ」のつくお話を
場や道具、どんな仕事をするのかを教えてくれます。

高畠純 絵
一宮ゆきこ 作

こども大百科 キッズペディア

こども大百科
谷川俊太郎 文

身近なものからうちゅうまで、ふしげに思つたことをなんでも調べてみましょう。図や写真でくわしく分かります。

たまごのはなし

千葉茂樹 訳
ダイアナ・アストン 文
シルビア・ロング 絵

丸くて白いのがたまごじゃありません。いろいろなたまごがあります。ふしぎなたまごの世界へようこそ。

もっと・しごとば

鈴木のりたけ

花火師やパン職人など、いろいろの仕事について、仕事をするのかを教えてくれます。

一生の図鑑

一生の図鑑
平木典子 監修

うれしい、ドキドキなど、いろいろな気持ちが生まれる心。どうして気持ちが生まれるのか、心のふしげをたんけんしましょう。

糸あそび

田村恵理子 文
平野寿美恵 絵

服もタオルも、糸と布とでできています。糸と布で、いろいろなものを作ってみませんか。

むし歯のもんだい

むし歯のもち
北川原健一郎 文
柳生弦一郎 絵

なぜ、むし歯になるの。歯みがきしなければいけないの。「むし歯」について、分かりやすく教えてくれます。

こころのふしげ たんけんえほん

科学・ちしき
平木典子 監修

いろいろな気持ちが生まれる心。どうして気持ちが生まれるのか、心のふしげをたんけんしましょう。

ラボラポラ

ラボラボラ
北川原健一郎 文
柳生弦一郎 絵

「ラボラボラ」は、森にすむようせい。わたしは、ラボラボラをさがしに、森へ出かけました。

とかげとぞう

工藤
直子
佐野
洋子
絵え
作さ

- △ 次の中からかいをえらんで、取り組みましょう。
• 登場人物と出来事を、整理しましょう。
• 出来事について、登場人物はどんな気持ちになつたでしょ
うか。したことや言つたことからそぞうぞうしましよう。
• ものがたりよおもで語を読んで思つたことを、友だちと話しましよう。

とかげは夕日がすきです。

夕日が、地平線にくるくるとしづんでいくのを、目を細くして見るのがすきです。

ある夕方、とかげが石けりをして遊んでいると、地面のすなつぶが、いっせいに、ぽつと光をともしました。

「あら、ま。」

太陽から来たたくさんの光の糸が、たくさんのはながつたのです。
とかげは西の空を見上げて、びっくりしました。

「今日の夕日は、とくべつ上等。」

地平線に向かつて、ずんずんずんとしずむ夕日のりっぱさときたら、木のこずえや、空の雲が、ははあつ、とおじぎをしたほどです。

「すごいや。今日の夕日は、友だちと二人で見るのに、ぴつたりの夕日だね。」

とかげは、友だちのぞうのところへ走つていつて、二人で夕日を見ました。
ぞうは、鼻をまいて、

「ほほう。」

とかげは、はらばいになつて、目を細くして、

「ほほう。」

と、夕日を見ます。
二人で、何度も、

地平線
地面のはてと空が
せつしたように見え
る線。

「ほほう。」

と言つているうちに、夕日は、ずんずんずんと地平線に、下り立ちました。それから、しづかにすがたを消していきます。

そのとき、とかげの「ほほう。」が「ほう。」になり、さいごに「ほ。」とため息をつきました。ぞうが「どうしたの。」ときくと、

「もう、しずんじやうね、いなくなるね。今日の夕日は、もう、おしまいだね。」とざんねんそうです。

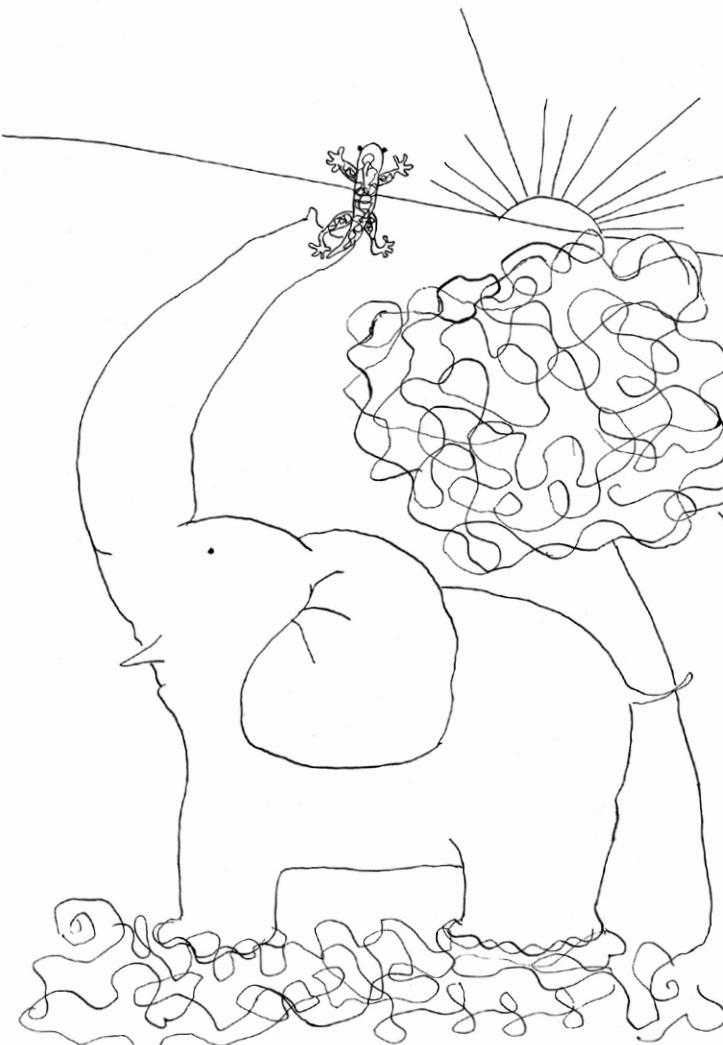
ぞうが、せのびをして地平線を見ると、まだ、ちびつどですが、夕日の赤いかけらがのぞいていました。

「早く、早く。ぼくの頭に、上ってごらん。見えるから。」

とかげは、大急ぎでぞうの鼻をかけのぼり、頭のてつぺんでせのびして、夕日

のかけらをながめました。

せのびしたぞうと、そのぞうの頭のてつぺんで、せのびしたとかげとに、夕日のさいごの光の糸が、ぴかりとつながりました。



工藤直子
一九三五年、台湾
に生まれる。
作家。「のはらうた」
「ともだちは海の
おい」などの作品
ある。

□ 2 風 ⑨ かかぜ △ フウ	□ 2 父 ④ ちち	□ 1 百 ⑥ ヒヤク	□ 番 ⑫ パン	□ 2 半 ⑤ ハーハン	□ 1 八 ② ヤハチ	□ 2 麦 ⑦ モウ	□ 1 白 ⑤ モク	□ 2 買 ⑫ カバ	□ 2 壳 ⑦ カバ
△ 木 ④ モク	△ 北 ⑤ キタ	△ 方 ④ カタ	△ 母 ⑤ マタ	△ 歩 ⑧ ヒヨク	△ 米 ⑥ コメ	△ 聞 ⑭ カミ	△ 文 ④ モン	△ 分 ④ ブン	
△ 毛 ④ モウ	△ 鳴 ⑭ メイ	△ 明 ⑧ メイ	△ 名 ⑥ メイ	△ 万 ③ バン	△ 妹 ⑧ メイ	△ 每 ⑥ マイ	△ 本 ⑤ ホン		
△ 理 ⑪ リ	△ 里 ⑦ シリ	△ 来 ⑦ カム	△ 曜 ⑮ ヨウ	△ 用 ⑤ ヨウ	△ 友 ④ ユウ	△ 野 ⑪ ノヤ	△ 夜 ⑧ ヨガ	△ 門 ⑧ モン	△ 目 ⑤ モク
△ 話 ⑯ ワナシ	△ 六 ④ ロク	△ 林 ⑧ リン	△ 力 ② リョク	△ 立 ⑤ リュウ					
△ 読 ⑯ ヨウ	△ 道 ⑫ ドウ	△ 同 ⑥ ドウ	△ 頭 ⑯ トウ	△ 答 ⑫ トウ	△ 通 ⑩ トウ	△ て トウ			
△ 馬 ⑯ マサ	△ 年 ⑥ ネン	△ は ハ	△ 入 ② ヌイ	△ 日 ④ ヒツチ	△ 肉 ⑥ ニク	△ 二 ② ニ	△ 南 ⑨ ナン	△ 内 ④ ナイ	△ と ト
									△ 生 ⑤ セイ
									△ 赤 ⑦ セキ
									△ 早 ⑥ サン
									△ 朝 ⑫ チヨウ

はじめて知つたことを
知らせよう／鳥になつた
きょうりゅうの話

わたしと小鳥とすずっと
夕日がせなかをおしてくる

ポスターを読もう

110 都	109 死	104 化	102 集	102 植
11画	6画	4画	12画	12画
みやこ ツト 都 都 都 都 都 住めば都 合都 東京 都 都 都 都 会都	しぬ シ ばかす (け) 死死死死死死 病氣で死ぬ 生死	カ あつめる 化石 ひに化ける 文化 ひとを化かす	集集集集集集 シユウ (つどう) 集合詩集 廣場に集まる 切手を集める	植植植植植植 ショク うわる 木を植える 花の植わった庭 はなし
117 員	116 屋	116 対	115 負	112 兩
10画	9画	7画	9画	6画
イン イン 員員員員員員 金員店員	や オク (ツイ) 小屋屋屋屋屋屋 魚屋屋屋屋屋屋	対対対対対対 タイ 対話 反対	三日間すごすなら やまごや まつかん	負負負負負負 フ まかす 勝負に負ける 言い負かす きずを負つ
122 係	122 部	119 祭	118 真	118 写
9画	11画	11画	10画	5画
かかり かかる 図書係に係る	ケイ 部 部 部 部 部 部分全部	まつり 祭祭祭祭祭祭 日本祭りに先祖を祭る	ま シン 真真真真真真 真つ白 真夏	シャ うつる 写真手本を出す 写真に写る
123 港	123 油	123 柱	123 板	123
12画	8画	9画	8画	
みなと 港町開港空港	コウ 港港港港港 油繪油田石油	ユ あぶら 油油油油油 柱柱柱柱柱 はしら 柱時計 電柱鉄柱 板板板板板 ハンバント 黒板合板	いた 板の間	



ことば 言葉のたから箱

かんが
考えや気持をつたえる言葉

じんぶつ
人物を表す言葉

ものや事がらの様子
を表す言葉

かんが
考え方を表す言葉

人物や出来事についてせつめいするときや、自分の考え方や
気持ちを書いたり話したりするときに、役立てましょう。

陽気
ほがらか
がんばり屋
まじめ
のんびり
おとなしい
負けすぎらい
おこりっぽい
活発

役立つ
大切
はつきりした
ていねい
不十分
あやふや
あつけない
不便

まるで——のよう
と（に）等しい
とことなる
と反対の
とぎやく
——のなかま

さわやか
き分がいい
きげんがいい
まんぞく
落ち着く
氣楽

決意
ひつし
本気
こうふん
あきれる
はんせい
びっくりする
ゆかい

たいくつ
不安
まよう
あせる
はらが立つ
はずかしい
かつとなる
きんちょう
はらが立つ
あせる
まよう
はらが立つ
はずかしい
かつとなる
きんちょう

きも
気持ちを表す言葉

こくご
国語辞典を使おう

よく分からぬ言葉や気になる言葉を、国語辞典で調べてみましょう。意味や使い方が分かるだけでなく、にた意味の言葉や、反対の意味の言葉も見つかりますよ。

ようき
陽気

明るい	あか —— うす。 にぎやかで明るいよ う。 人／陽気におどる。 対陰気 ②気候。 例春
陰気	いん き —— らしく陽気になる。 —— うす。 にぎやかで明るいよ う。 例春



ここにある言葉をきつ
かけに、自分の言葉をど
んどん広げよう。

学習に用いる言葉

国語の学習で、よく使われる言葉です。意味や使い方をたしかめて、学習に役立てましょう。

場面

物語の中にあるいくつかのまとまり。時間や場所、登場人物の行動などでひとまとまりになっていることが多い。

すると、場面の様子をくわしくそそうぞうできる。

26ページ

段落

文章を組み立てている、事がらごとのないよつのまとまり。はじめを一字下げて表す。

読むときは、それぞれの段落で何が書かれているのかを考えると、全体のないようがとらえやすい。書くときは、ないようごとに段落を分けると、読み手に分かりやすい。

48ページ

問い合わせ（問い合わせの文）

せつめいする文章などで、これから何を書くかを、読み手に問い合わせるかたちで表した文のこと。

問い合わせの文を見つけると、文章全体で書かれていることを見通すことができる。

5ページ

引用

他の人が言つたことや、本などに書かれていることを、自分の話や文章の中で使うこと。**①かぎ**（「」）をつけるなどして、他とくべつする。**②元**の言葉や文を、そのままぬきだす。**③どこ**から引用したのかをしめす。

10

（れい）

わたしは、**①日本**は、世界でいちばんこまのしゆるいが**多い国**だと知つて、とてもおどろきました。

（「**③こまを楽しむ**」**安藤正樹**より）

15

他の人への考え方を引用することで、自分の話や文章のないようをおぎなうことができる。

91ページ

句読点

文の終わりに打つ句点（。）と、文の中の意味の切れ目に打つ読点（、）とを合わせた言葉。

15

読点は、主語の後などに打つことで、文を読みやすくしたり、意味を分かりやすくしたりすることができます。

97ページ

さくいん

図鑑などで、その本の中にある言葉や物事が、どのページにあるかを五十音順などでしめしてあるもの。

知りたい事がらが決まっているときにさくいんを使うと、書いてあるページをかんたんにさがすことができる。

103ページ

連

一行空きなどを入れて区切られた、詩の中のそれぞれのまとまり。

一連ごとに様子をそぞうしたり、連どうしで使われている言葉をくらべたりすると、詩の全体がとらえやすい。

115ページ

キヤツチコピー

相手を引きつけるようにくふうされた、短い言葉。ポスターや広告など、多くの人が見るものに、問い合わせの言葉などを用いて目を引くように使われている。

119ページ

組み立て

これまでに学んだ言葉

「はじめ」「中」「終わり」など、文章や話などが、どのようなまとまりとじゅんじょでできているかということ。

登場人物（人物）

物語に出てくる人のこと。物語の中で、人のように動いたり、考えたりする生き物や物も、登場人物という。

筆者

文章を書いた人のこと。物語や詩などを書いた人である「作者」とくべつして、せつめいする文章を書いた人を筆者ということがある。

話題

話したり話し合つたりするときの、中心となる事がら。

15

10